目次

Creo PDF Trapper の概要 1
Trapper バージョンの選択 2
ワークフローのトラッピングの選択 3
トラッピング ワークフローでの PitStop の使用 3
トラッピング ワークフローのオブジェクトの Copydot の使用 5
クライアント マシンの必要条件のチェック 5
Trapper のインストールとアップデート 6
テクニカル ヘルプの取得 7
トラッピングのためのファイルの準備 8
ファイル名のチェック 9
Prinergy のファイルの準備 10
Creo PDF Trapper により「トラップ」 14
ワークスペースと環境設定のセットアップ 15
Trap Viewer のオープン 16
Trap Viewer ツールバー 18
ライセンスされた Trap Editor のオープン 19
Trapper のライセンスについて 21
Trap Editor Action ツールバー 22
Trapper の終了 23
Trapper ウィンドウを並べて表示する 23
Trap Viewer と Editor の間の切り替え 23
倍率の変更 (ズーム) 24
幅に合わせると全体表示の設定 25
ページの別の部分の表示 (パンニング) 26
選択とハイライトのカラーの設定 27

デフォルトのトラップ セット名の入力 29
表示および編集単位の設定 29
ライセンス サーバー名の入力 30
警告の表示または非表示 32

オブジェクト、トラップ、およびボーダーの選択 34
選択可能なオブジェクト タイプ、トラップ、ボーダー 35
マウス クリックによる選択 36
マーキーによる選択 37
属性およびコンテキストによる選択 39
リストからの選択の削除 43
選択されたアイテムの容易な検索 43

トラップしたページの検査 44
Properties Viewer のオープン 45
オブジェクトのプロパティのチェック 46
トラップのプロパティのチェック 47
ボーダーのプロパティのチェック 49
カラー分版のチェック 51
オーバープリントにセットされているオブジェクトの
ハイライト 52
すべてのトラップのハイライト 53
すべてのトラップの非表示 53
透明オブジェクトの非表示 54

プロパティの編集とトラップの生成 55
Properties Editor のオープン 56
オブジェクトのオーバープリントまたはノックアウトへの
設定 57
トラップ方向の編集 58
トラップ カラーの編集 59
トラップ サイズの変更 61
トラップ ジオメトリの変更 62

Properties Editor を使用したボーダーのトラッピング 62
トラッピング ダイアログ ボックスのオープンおよび選択 ..64
ページのトラッピング 68
選択されたオブジェクトまたはボーダーのトラッピング ...69
ページの別の領域のトラッピング 71
トラップ パスの編集.....71
選択されたトラップの削除.....72
すべてのトラップの削除 72
アクションの取り消しとやり直し 72

複雑なビットマップのトラッピング 73
複雑なビットマップの自動トラッピング 74
複雑なビットマップの手動トラッピング 75
オーバープリントするように複雑なビットマップを
設定する 76
上のオブジェクトへの複雑なビットマップのトラッピング .77
複雑なビットマップのスプレッドまたはチョーク.....79

生成されたトラップの数の変更.....84
トラッピングの決定に含まれること 85
トラッピングしきい値の設定.....85
共通濃度制限の設定 86
トラップ方向のの概要 88
相対ステップ制限の設定 88
絶対ステップ最低制限の設定.....90

固有のトラッピング パラメータのセットアップ.....91
トラップ サイズの設定.....92
中央線トラップ制限 92
トラップ ジオメトリの設定 93
黒インクのトラッピング 94
小さいテキストのトラッピング 96
イメージのトラッピング 98

インクの種類の設定 100
ニュートラル濃度の変更 101
トラップ カラーのスケーリング. 102
インクをブラックとして取り扱うよう設定する 104
カラーラント順序の設定 105
細い線のトラップの設定 106
既存のトラップ オプションの削除. 108
共通オブジェクト ボーダーのみオプション. 109

トラップ設定のワークフローの最適化 110
Prinergy ファイルからのトラップ設定の作成. 111
Trapper 編集ファイルからのトラップ設定の作成 112
保存したトラップ ページのロード. 114
トラップ設定の変更 116
プロセス プランのトラップ設定の再ロード. 118
デフォルト トラップ設定の入力と使用 119

パッケージのための高度なトラッピングの使用 121
トラップ ジオメトリの設定 122
トラップ ジオメトリの編集 125
Keepaway トラップの設定 126
トラップ パスの編集. 128

Creo PDF Trapper の概要

Creo PDF Trapper は、商用およびパッケージング プリンタ用の異なるトラッピング ワークフローに合わせたそれぞれのバージョンを用意しています。

Trapper バージョンの選択 2 ページ

ワークフローのトラッピングの選択 3 ページ

トラッピング ワークフローでの PitStop の使用 3 ページ

トラッピング ワークフローのオブジェクトの Copydot の使用 5 ページ

クライアント マシンの必要条件のチェック 5 ページ

Trapper のインストールとアップデート 6 ページ

テクニカル ヘルプの取得 7 ページ

Trapper バージョンの選択

Creo PDF Trapper は、ワークフローごとに異なるバージョンを提供するベクトル ベースのトラッパーです。

バージョン	用意されている形式	機能
Trapper プラグインの Trap Viewer バージョン	Trapper JTP がライセンスされたときの Prinergy の標準機能	すでに整理され、トラップされた PDF ページの選択済みのトラップとオブジェクト プロパティを Adobe Acrobat でチェックします。
Trapper プラグインの Trap Editor バージョン	商業オフセット プリンタにより主に使用されるライセンス済みのオプション	ページ全体または選択済みのオブジェクトをトラップし、既存のトラップを編集し、Acrobat で調整および / またはトラップされたページにトラップを追加します。Trap Viewer 機能を含みます。
Trapper プラグインの Trap Editor 上級バージョン	パッケージ用プリンタにより主に使用される高度な機能をもつライセンス済みのオプション	トラップ ジオメトリをセットし、Acrobat で調整および / またはトラップされたページにキープアウェイ トラップを作成します。Trap Viewer および Trap Editor の機能を含みます。
Trapper JTP	一部の高度な機能を含むライセンス済みのオプション	Prinergy ワークフローの一部として PDF ページをトラップします。詳細については、Prinergy オンライン ヘルプを参照してください。

ワークフローのトラッピングの選択

Prinergy トラッピング ワークフロー

一般的な Prinergy トラッピング ワークフローは以下のものから構成されています。

1. Creo PDF Trapper JTP を含む Prinergy ワークフロー システムの PDF ファイルの調整、カラー マッチング、トラッピング。
2. Acrobat で調整され、トラッピングされた PDF ページのオープン。その後、Creo PDF Trap Viewer プラグインを使用してページのオブジェクト、トラップ、ボーダーのチェック。

   または

   Acrobat で調整され、トラッピングされた PDF ページのオープン。その後、Creo PDF Trap Viewer プラグインを使用してオブジェクト オーバープリントをチェックし変更して、ページにトラップを生成します。

この PDF ヘルプ ドキュメントは、Creo PDF Trapper プラグインの Trap Viewer および Trap Editor バージョンの使用法を説明します。

トラッピング ワークフローでの PitStop の使用

トラッピング ワークフロー中に、Enfocus PitStop を使用して PDF ページのオブジェクトの編集が必要になります。ここで、トラップされた PDF ページのオブジェクトにカラー分版および移動を追加したり、削除するエフェクトを操作する望ましい方法を示します。

PitStop で編集する前のトラップの削除

PitStop やその他の編集ツールでページを編集する前に、TrapEditor ですべてのトラップを削除することをお勧めします。

Trap Editor の終了

PitStop アプリケーションを開いたり、使用する前に Trap Editor を終了します。

カラー分版を追加した後

PitStop でオブジェクトを編集中にカラー分版を追加または変更する場合、Prinergy の PDF ファイルをカラーマッチングとトラッピング処理を含めて再調整する必要があります。

オブジェクトの移動後

トラップを含むページで PitStop を使用してオブジェクトを移動した場合、オブジェクトのトラップはオブジェクトと関連がなくなっていることが考えられます。これらの「ゴースト」トラップは、ページからクリアする必要があります。

以下のことが可能になります

- PitStop を使用してオブジェクトのトラップを手動で選択し、削除する。

または

- Trap Editor でページを開き、すべてのトラップを削除する。この操作を行うとページを再トラップできます。(推奨。)

または、いくつかのオブジェクトのみが変更された場合

- Trap Editor でページを開き、オブジェクトを選択し、[**Common object boundaries(共通オブジェクト境界)**] チェックボックスをクリアして選択対象を再トラップする。

オブジェクトの削除後

トラップを含むページで PitStop を使用してオブジェクトを削除した場合、次に Trap Editor でアイテムを開いて選択したり、ファイルを再トラップしたときに、オブジェクトのトラップは自動的に削除されます。

トラッピング ワークフローのオブジェクトの Copydot の使用

Creo PDF Trapper はベクトルベースのトラッパーで、ラスタ データ内のカラー交点に沿ってトラップしません (すなわち、イメージ、コピードット、CT/LW、および CEPS データ内)。これらのイメージは、内部でトラッピングが必要な場合、Photoshop のようなツールでトラップする必要があります。コピードットと CEPS データは通常、すでにトラッピングされています。

Trapper はベクトルおよびテキスト オブジェクトをトラップし、データをラスタリングすることができ、ラスタ オブジェクトのアウトラインをベクトル オブジェクトやその他のラスタ オブジェクトにトラップできます。

クライアント マシンの必要条件のチェック

クライアント コンピュータで以下の最低の必要条件をもつ Creo PDF Trapper プラグインを使用することができます。

オペレーティング システム

Microsoft Windows 2000 Service Pack 1

または

Apple Macintosh OS 9.1 またはそれ以降で、Adobe Acrobat に 100 MB のメモリを割り当てたもの実際のメモリの必要条件は、処理済みファイルとその他の Acrobat プラグインの複雑さとサイズによって決まります。

または

Apple Macintosh OS X 10.2.3

注記: Macintosh クライアントは、コンピュータ名とユーザー名の両方を割り当てなければなりません。

ソフトウェア

Adobe Acrobat 5.0.5

調整済みのファイルとトラップ済みのファイルを別のサイトで出力するために送信する場合、そのサイトは少なくとも Prinergy 2.0.7.21 をインストールしていなければなりません。

最低のシステムの必要条件

256 MB RAM; 300 MHz PII または G3 プロセッサ

100 MB の空き領域をもつ一時ファイル; マウスまたはトラックボール

Prinergy プライマリ サーバーへの TCP/IP ネットワーク接続

Trapper のインストールとアップデート

Creo PDF Trap Viewer プラグイン

Trap Viewer プラグインは、Trapper JTP がライセンスされるときに使用できます。Viewer プラグインは、Adobe Acrobat および Prinergy Workshop が Prinergy サーバーまたは Windows および Macintosh クライアント マシンにインストールされるときにインストールされます。

Creo PDFTrap Editor および Advanced Trap Editor プラグイン

Trap Editor は Creo PDF Trapper プラグインのライセンス バージョンです。特別な Prinergy ライセンス キーを取得して、Trap Editor のいずれか、または両方のバージョンを Acrobat と Workshop がインストールされているサーバーまたはクライアント マシンでアクティブにします。

Macintosh システム拡張 Carbon Lib 1.6 またはそれ以降は、Prinergy アップデートで Macintosh OS 9.1 クライアントに自動的にインストールされます。

プラグインのアップデート

Creo は Prinergy 2.1 クライアント (Workshop) ソフトウェア アップデートを使って Creo PDF Trapper プラグインを提供します。Prinergy アップデートの Readme ファイルをチェックして、Trapper アップデートが含まれていることを確認してください。

Creo PDFTrapper JTP

この JTP は Prinergy ジョブ処理システムのライセンス機能です。特別な Prinergy ライセンス キーを取得して、Trapper JTP を Prinergy ワークフローでアクティブにして使用します。

テクニカル ヘルプの取得

ヘルプ情報の検索

Acrobat メイン メニューから、[**Help(ヘルプ)**]> [**Plub-In Help(プラグインヘルプ)**]> [**Creo PDF Trapper(Creo PDF Trapper)**] を選択して、Trapper ヘルプ ドキュメントを含む PDF ファイルを開きます。

[About(Trapper について)] ダイアログ ボックスの表示

Acrobat メイン メニューから、[Help(ヘルプ)][About 3rd Party Plug-Ins(サードパーティ プラグインの概要)][Creo PDF Trapper] を選択し、[Trapper] ダイアログ ボックスをチェック表示し、Acrobat プラグイン フォルダにプラグインのバージョンがインストールされているバージョンをチェックします。

カスタマ サポートに電話でお問い合わせください。

1-877-788-2727(通話料着払い) のカスタマ センターに電話でお問い合わせください。

トラッピングのためのファイルの準備

PDF ファイルをトラッピング ワークフローで正しくセットアップすると、より良い印刷結果が得られます。

ファイル名のチェック 9 ページ

Prinergy のファイルの準備 10 ページ

Creo PDF Trapper により「トラップ」14 ページ

ファイル名のチェック

Prinergy サーバーは Windows ベースのサーバーで、Prinergy クライアントは Macintosh または Windows オペレーション システムのいずれかも実行できるため、PDF (Portable Document Format) ファイルはプラットフォーム全体で移動可能であることが必要になります。

PDF ファイルが Macintosh と Windows の両方の基準に準拠する名前が付けられていることを確認してください。

Macintosh と Windows のファイル名

Macintosh または Windows PC で Trapper を使用するときの有効なファイル名は以下のとおりです。

- 32 文字以下
- コロン文字 (:) を含まない
- 制御文字を含まない

  (すなわち、1 から 31 までの ASCII 文字)
- ピリオド (.) を先頭文字として含まない
- < > " | * : /\ の文字を含まない
- デバイス名ではない (例: aux, con, lpt, com, prn)

トラップ セット ファイル名

Trapper プラグインの トラップ セット名は、命名規則と 18 文字の文字数制限に従わなければなりません。トラップ セット ファイルの作成と使用に関する詳細は、トラップ設定のワークフローの最適化 を参照してください。

Prinergy のファイルの準備

PDF ページのトラップをチェックし、変更する前に、Prinergy の PDF ファイルを調整、カラー マッチング、カラー マップ、およびトラップしなければなりません。

1. 最良の結果を得るには、ソース アプリケーションに行われたトラップを削除してください。
2. ソース アプリケーションで PostScript 出力ファイルを作成するか、調整手順中に Prinergy で作成する間に、入力ファイルで使用されるフォントを埋め込みます。
3. トラッピングとカラー マッチングは、コンポジット ファイルにのみ行うことができる変更を行うため、入力ファイルとしてはコンポジット PostScript (PS) または PDF を使用します。分版ファイル (すなわち、PDF ページごとに 1 ページを作成) は、Creo PDF Trapper によりトラップすることはできません。
4. RGB カラーを CMYK カラーを変換するために調整プロセス プランで Color Matcher JTP をセットアップします。入力ファイルまたはデザインの必要条件によって、**[Map All Spot Color to Process(すべてのスポット カラーをプロセスにマップ)]**、**[Set Colors to Knockout(カラーをノックアウトにセット)]**、および/または **[Set Black to Overprint(ブラックをオーバープリントにセット)]** を選択できます。

   スポット カラーをダブルヒットするときは、カラーをノックアウトにセットしないでください。
5. [Per-Job Color Editor(ジョブ単位のカラー エディタ)] または [Global Color Editor(グローバル カラー エディタ)] にインク タイプを追加します。

   インク タイプはデフォルトで **[Normal (通常)]** にセットされますが、Color Editor で次のように変更できます。

- **Normal(通常)** (たとえば、すべてのカラーとスポット カラー)相対的な明るさまたは暗さ、あるいはニュートラル濃度に従ってほかにトラップする半透明のカラー。Color Editor でニュートラル濃度を指定するか、Trapper がカラーの CMYK コンポジションに基づいた値を導くことができます。互いに境界線を接し、半透明カラーの下にある通常のカラーは、互いにトラッピングされることがあります。
- **半透明** (たとえば、ニス色)透明のカラーはトラップされません。透明のカラーのオブジェクトは Trap Editor プラグインで手動で選択したり、トラップすることはできません。境界を互いに接し、透明カラーの下にあるカラーは、互いをトラップすることがあります。
- **不透明** (たとえば、金属インク)不透明のカラーは、印刷の順序では後の方のほかの不透明のインクと関連してのみスプレッドされたり、抑制されることがありますが、ほかのカラーは不透明な色にトラップでき、不透明のカラーでカバーされるオブジェクトは抑制できます。互いに境界を接し、不透明カラーの下にあるオブジェクトは、トラップされません。
- **OpaqueIgnored**: このカラーはスプレッドされるか、抑制されます。互いに境界を接し、不透明カラーの下にあるオブジェクトは、トラップされません。
- **ダイライン** ダイライン カラーはトラップされませんが、代わりに透明インクと同様に処理されます。コンポジット プルーフの場合、ダイラインがプルーフ時に表示されるようにノックアウトされます。分版の場合、オーバープリントされます。

  Trapper はスポット カラーの不透明とニュートラル密度の値について、カラー データベースをチェックします。カラー データベースでカラーが定義されていない場合、Trapper で [Normal (通常)] の不透過度値が想定され、ファイルの CMYK 値からニュートラル濃度が決定されます。

6. スポット カラーを最終出力カラー分版にマップします。[**Start Refine Process(調整プロセスの開始)**] ダイアログ ボックスで [Apply Color Mapping Changes(カラー マッピングの変更の適用)] をチェックし、Color Editor のカラー マッピングにアクセスし、スポット カラー プロパティを変更します。
7. 不透明度 カラーのファイルでは、[Prinergy Color Mapping(Prinergy カラー マッピング)] ダイアログ ボックスから [**(Ink) Print Order ((インク) 印刷順序)**] を設定して、不透明インクの間でトラップのトラップ指示を決めます。最後にリストされたカラーは形状を決め、ほかのすべてのカラーはその下に入れられます。たとえば、Color 1 は Color 2 にトラップし、Color 2 は 3 に、3 は 4 にトラップします。
8. リリース 2.1.0.14 の時点で、アップデートされた Prinergy 2.1 カラー データベースに [**Treat as Black(黒として処理)**] オプションもセットします。
9. PDF ファイルが正常にセットアップされ、調整されると、Acrobat 用の Creo PDF Trapper プラグインを使用して調整された PDF ページでトラップをチェック、変更、および/または追加できます。

注記: 調整済みでトラップ済みのページを別のサイトで出力するために送信する場合、そのサイトは少なくとも Prinergy 2.0.7.21 をインストールしていなければなりません。

インクの種類とトラッピング規則の関係については、表 1 を参照してください。

インクの種類	カラーがインクをトラップするか？	基礎のインクをトラップするか？	黒のトラッピング規則が適用されるか？	トラッピングの方向を決める原因は？
標準	はい	はい	プロセス ブラックまたはニュートラル濃度 > ブラック密度制限またはブラックとして処理がオンの場合	ニュートラル濃度
不透明塗りつぶし	はい	いいえ	常に	印刷順序
不透明スクリーン	はい	いいえ	インクの密度 > 黒のカラー制限	ニュートラル濃度
不透明の無視	いいえ	いいえ	非適用	非適用
透明 (またはダイライン)	いいえ	はい	非適用	非適用

表 1: インクの種類とトラッピング規則

黒のトラッピング規則の詳細については、黒インクのトラッピング を参照してください。

Creo PDF Trapper により「トラップ」

Creo PDF Trapper JTP を使用して調整され、トラップされた任意の PDF ファイルは、Trapper プラグインで開くと、ページの左上に識別するアイコンが表示されます。これは、印刷されない標準の Acrobat 注釈です。

- ページがトラッピングされた日付を確認するには、Trapper プラグインを閉じ、「トラップ」アイコンをダブルクリックしてください。
- アイコンを削除するためには、Acrobat メイン メニューから [**ツール**]> [**コメント**] を選択し、[**すべてを削除**] を選択してください。

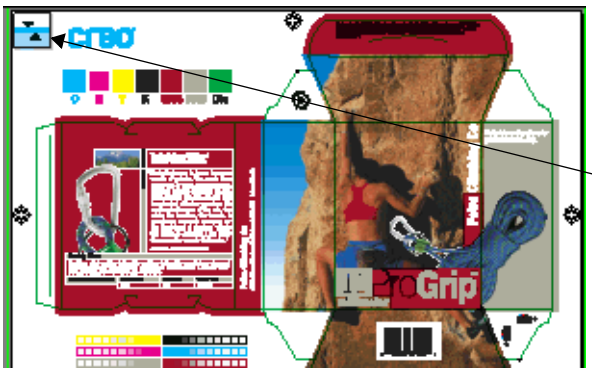


図 1: Creo PDF Trapper により「トラップ」アイコン

ワークスペースと環境設定のセットアップ

トラッピング ワークスペースのセットアップの基本的な移動は以下のとおりです。

Trap Viewer のオープン 16 ページ

Trap Viewer ツールバー 18 ページ

ライセンスされた Trap Editor のオープン 19 ページ

Trapper のライセンスについて 21 ページ

Trap Editor Action ツールバー 22 ページ

Trapper の終了 23 ページ

Trapper ウィンドウを並べて表示する 23 ページ

Trap Viewer と Editor の間の切り替え 23 ページ

倍率の変更 (ズーム) 24 ページ

幅に合わせると全体表示の設定 25 ページ

ページの別の部分の表示 (パンニング) 26 ページ

[環境設定] ダイアログ ボックスを使用して一部の環境設定をセットアップすることもできます。

選択とハイライトのカラーの設定 27 ページ

デフォルトのトラップ セット名の入力 29 ページ

表示および編集単位の設定 29 ページ

ライセンス サーバー名の入力 30 ページ

警告の表示または非表示 32 ページ

Trap Viewer のオープン

Creo PDF Trap Viewer ワークスペースは、オブジェクトを表示し、PDF ファイルにトラップする一連のウィンドウです。

1. Adobe Acrobat のコンポジット PDF ファイルを開きます。Acrobat ウィンドウには、PDF ファイルの内容が表示されます。
2. Acrobat のメイン メニューで、[**表示**] > [**全体表示**] を選択します。
3. Acrobat の [**編集**] ツールバーで、[**Trap Viewer**] ボタンを選択します。

   または

   Acrobat メイン メニューから [**ツール**] > [**Creo PDF Trapper**] を選択し、[**Creo PDF Trap Viewer**] を選択します。

   次のウィンドウが開きます。

   - **Trap Viewer ウィンドウ** — PDF ファイルのレンダリングされた内容を示します。
   - **Acrobat ウィンドウ** — PDF の内容の上にスーパーインポーズされた Trapper の四角形を表示し、Trap Viewer ウィンドウに示される現在の表示をアウトライン化します。
   - **Properties Viewer ウィンドウ** — 最初の空白は、オブジェクトとトラップが選択された後でオブジェクトとトラップのプロパティを表示します。
4. Acrobat でウィンドウをドラッグしたりリサイズすることができます。ウィンドウをリサイズするときに、マウスで標準的な右ききのボタン設定を使用していることを確認してください。あるいは、Trapper ウィンドウを並べて表示する を参照してください。

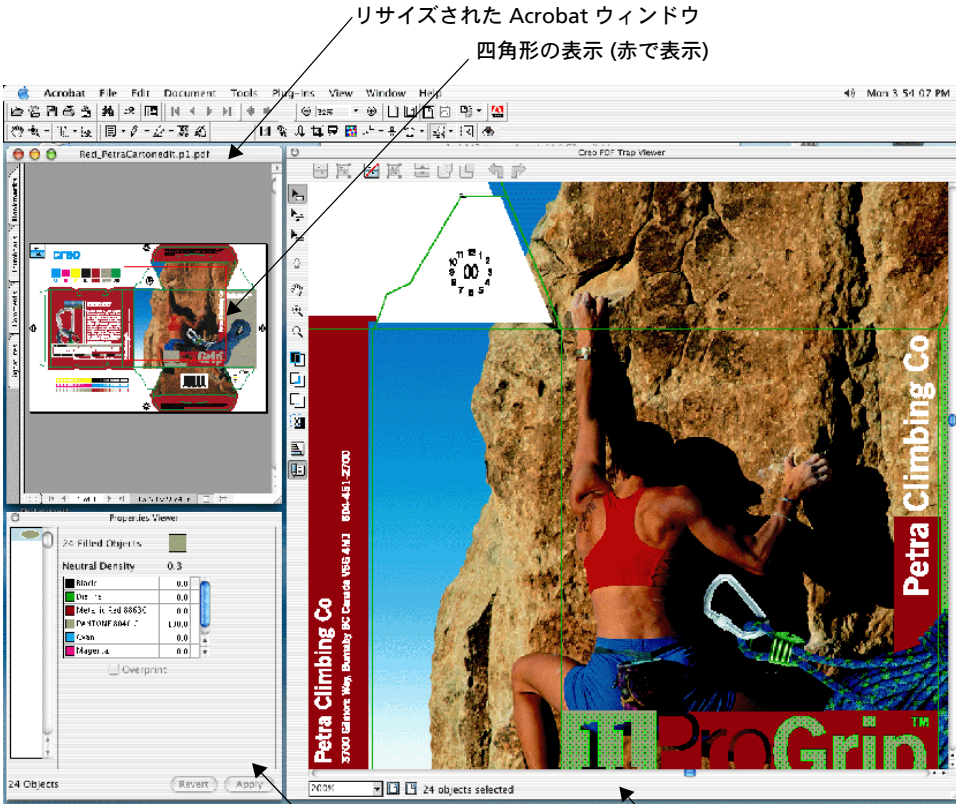


図 2: Trap Viewer を開いている図

Trap Viewer ツールバー

Trap Viewer ツールバーは、Trap Viewer ウィンドウの縦のツールバーです。Trap Viewer ツールバーはまた、Trap Editors で使用できます。



以下のボタンの 1 つのみを一度に使用できます。

Select object(オブジェクトの選択) — 以下に切り替えます。CMD (Mac)、CTRL (Windows)

Select trap(トラップの選択) — 以下に切り替えます。OPTION (Mac)、ALT (Windows)

Select border(ボーダーの選択) — 以下に切り替えます。CMD+OPTION (Mac)、CTRL+ALT (Windows)

Edit trap path(トラップ パスの編集) — トラップを選択し、クロップまたはマージのための (高度な) 多角形を描きます。

Pan(パン) — 以下に切り替えます。スペース (Mac)、スペース (Windows)

Zoom in(ズームイン) — 以下に切り替えます。スペース+cmd (Mac), スペース +CTRL (Windows)

Zoom out(ズームアウト) —未以下に切り替えます。スペース+CMD+OPTION (Mac)、スペース+CTRL+ALT (Windows)

注記: Macintosh キーボードは CMD キーを以下のキーとして識別します ⌘

次のボタンはクリック オン/クリック オフ ボタンで、組み合わせて使用することができます。

Highlight objects set to overprint(オーバープリントにセットされたオブジェクトをハイライト)

Highlight traps(トラップをハイライト) (Hide traps(トラップを隠す) と共に使用されません)

Hide traps(トラップを隠す) (Highlight traps(トラップをハイライト) と共に使用されません)

Hide transparent objects(透明オブジェクトを隠す)

Enable Separations Viewer(分版ビューアーを有効にする)

Show/Hide Properties Viewer (または Properties Editor)(Properties Viewer (または Properties Editor) を表示/隠す)

ライセンスされた Trap Editor のオープン

Trap Editor ワークスペースは、PDF ファイルでトラップを表示、選択、編集、および生成できる一連のウィンドウです。Prinergy プライマリ サーバーは、Trap Editor プラグインのライセンスを管理します。Trapper のライセンスについてを参照してください。

1. Adobe Acrobat のコンポジット PDF ファイルを開きます。Acrobat ウィンドウには、PDF ファイルの内容が表示されます。
2. Acrobat のメイン メニューで、[**表示**] > [**全体表示**] を選択します。
3. Acrobat の**編集**ツールバーで、[**Trap Editor**] ボタンの [Basic(基本)]  または [Advanced (高度)]  のいずれかを選択します。

   または

   Acrobat メイン メニューから [**ツール**] > [**Creo PDF Trapper**] を選択し、[**Creo PDF Trap Editor**] または [**Creo Advanced PDF Trap Editor**] を選択します。
4. Trap Editor ライセンスを取得した場合
   - **Trap Editor ウィンドウ** – PDF ファイルのレンダリングされた内容が表示されます。トラップの選択と生成に使用します。
   - **Acrobat ウィンドウ** がリサイズされ、Trapper の表示用の四角形が PDF ファイルの内容の上にスーパーインポーズされ、Trap Editor ウィンドウに表示される現在の表示がアウトライン化されます。
   - **Properties Editor ウィンドウ** が開きます。最初の空白は、オブジェクトとトラップが選択されると、オブジェクトとトラップのプロパティを示します。既存のトラップのチェックと編集に使用します。
5. Acrobat でウィンドウをドラッグしたりリサイズすることができます。ウィンドウをリサイズするときに、マウスで標準的な右ききのボタン設定を使用していることを確認してください。あるいは、Trapper ウィンドウを並べて表示する を参照してください。

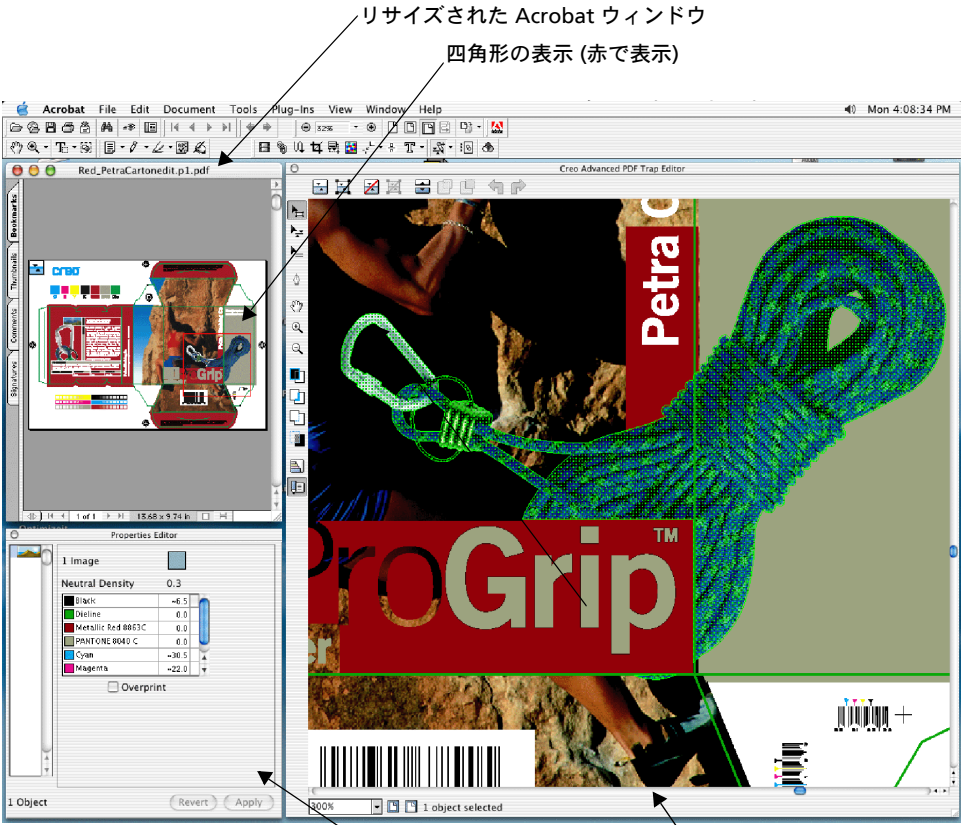


図 3: Trap Editor を開いている図



Trapper のライセンスについて

現在のセッションに使用できる Trapper バージョンは、ネットワーク接続されたクライアントを対象に Prinergy サーバーが管理しているサイトで現在使用されている Trapper ライセンスの数と種類に応じて決まります。

事例 1: 使用中のサイトは基本 Trap Editor のいくつかのインスタンスで操作するようにライセンスされています。基本 Trap Editor をクライアントから開こうとし、サイトのすべての Trap Editor ライセンスが使用される場合、サーバーは現在ライセンスされているユーザーとサーバーのライセンスの数をリストしたレポートを送信します。この情報を取得すると、以下のことが可能になります。

- Trap Editor プラグインに再びアクセスを試みる

または

- 代わりに Trap Viewer を開く

事例 2: 使用中のサイトが、多くの Advanced Trap Editor と多くの基本 Trap Editor のインスタンスを操作するようにライセンスされています。Advanced Trap Editor をクライアントから開こうとし、サイトのすべての Advanced ライセンスが使用される場合、サーバーは現在ライセンスされているユーザーとサーバーのライセンスの数をリストしたレポートを送信します。この情報を取得すると、以下のことが可能になります。

- Advanced Trap Editor プラグインに再びアクセスを試みる

または

- 基本 Trap Editor を代わりに開く

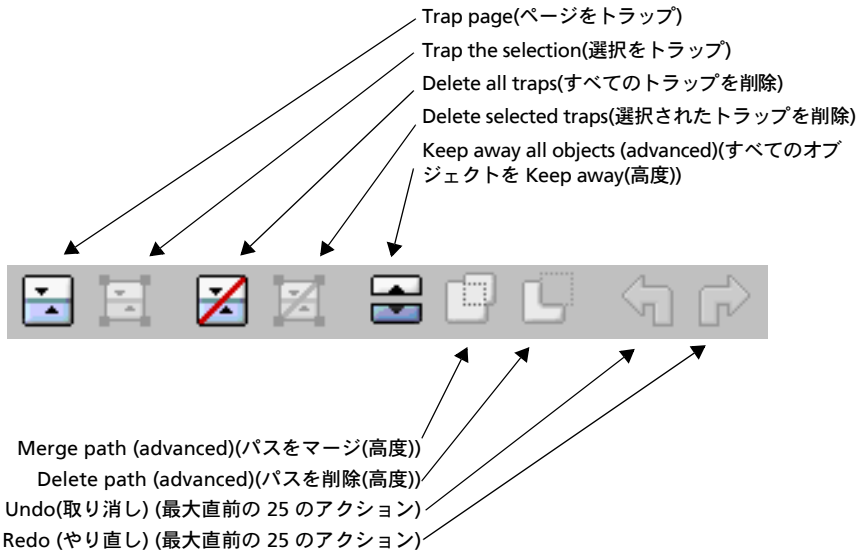
または

- 代わりに Trap Viewer を開く

Trap Editor Action ツールバー

アクション ツールバーは、Trap Editor ウィンドウの横方向のツールバーです。このツールバーは、[**Delete all traps(すべてのトラップを削除)**] ボタンを除き、Trap Viewer で無効にされています。

以下のボタンの 1 つのみを一度に使用できます。



Trapper の終了

- Trap Viewer の (または Trap Editor の) タイトル バーの終了ボタンをクリックすることにより、Macintosh OS9 または OS X で Trapper を閉じます。

または

- Trap Viewer の (または Trap Editor の) タイトル バーの終了ボタン  をクリックすることにより、Windows で Trapper を閉じます。

Trapper ウィンドウを並べて表示する

Trapper セッションの間に、メイン Trapper ウィンドウをコンピュータ画面でデフォルトのサイズと位置にリセットできます。

1. Acrobat メイン メニューから [**ツール**] > [**Creo PDF Trapper**] を選択します。
2. [**Tile Windows(ウィンドウを並べて表示)**] を選択します。

Acrobat ウィンドウと Properties ウィンドウはリサイズされ、画面の左側を互いに重ねて表示されます。Trapper ウィンドウは画面の右に移動します。

Trap Editor の標準的なタイル表示の図については、図 3 を参照してください。

Trap Viewer と Editor の間の切り替え

システムがトラップ編集に対して完全なライセンスを与えられている場合、Creo PDF Trap Viewer と Trap Editor の間で切り替えることができます。最初に見直したソフトウェアや PDF ファイルを閉じる必要はありません。しかし、アイテムを選択している場合、選択リストを失い、Trapper はページを再度解析します。

- Acrobat  編集ツールバーの[**Trap Viewer**] ボタン  または [**Trap Editor**] ボタン  をクリックします。

または

- Acrobat メイン メニューから、[**ツール**] > [**Creo PDF Trapper**] を選択し、[**Creo PDF Trap Viewer**]、[**Creo PDF Trap Editor**]、または[**Creo Advanced PDF Trap Editor**] を選択します。

倍率の変更 (ズーム)

Trapper ウィンドウで示されたページの倍率を変更できます。これはまた、表示用の四角形と Acrobat ウィンドウで PDF ページでカバーされている領域の間の関係も変更できます。Acrobat ツールバーのズーム ツールは、Acrobat ウィンドウにのみ影響します。

- 縦のツールバーの[**ズームイン**]ボタン  または[**ズームアウト**] ボタン  をクリックしてから、Trapper ウィンドウの中をクリックします。

または

- Trapper のステータス バーのドロップダウン メニューから倍率を選択します。12% から 6400% の間の倍率でズーム表示を設定できます。

または

- ドロップダウン メニューで選択された値をハイライトし、12 から 6400 までの数値を入力します。

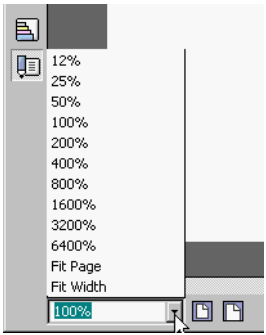


図 4: Trap Viewer または Trap Editor ウィンドウの [Magnification(倍率)] メニュー

ズームのためのキーボード ショートカット

ズームイン: スペース+CMD (Mac), スペース+CTRL (Windows)

ズームアウト: スペース+CMD+OPTION (Mac), スペース+CTRL+ALT (Windows)

幅に合わせると全体表示の設定

ページの幅とサイズに従って、Trapper ウィンドウで PDF ページのイメージ全t内を表示できます。

Trapper のステータス ツールバー :

- [幅に合わせる] ボタンをクリックして、幅に従って PDF ページの表示をリサイズします。

または

- **[全体表示]** ボタンをクリックして、Trapper ウィンドウに PDF ページ全体を表示します。

[全体表示] と **[幅に合わせる]** 機能は、Trapper の拡大表示メニューでも使用できます。

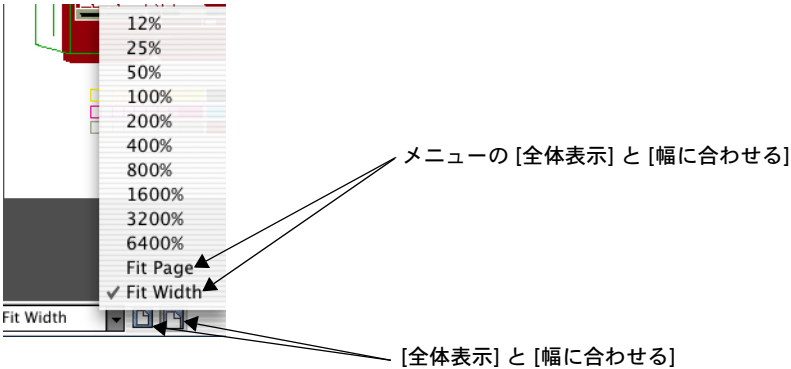


図 5: Trapper ウィンドウでの [全体表示] と [幅に合わせる] の検索

ページの別の部分の表示 (パンニング)

Trapper の表示用の四角形は PDF ファイルの内容をスーパーインポーズし、Trap Viewer (または Trap Editor) ウィンドウで示されている現在の表示をアウトライン化します。

- マウスを使用して Acrobat ウィンドウの表示用の四角形をグラブし、それを表示されているページの別の場所に移動します。新しい表示が Trapper ウィンドウに現れます。表示用の四角形は、図 3 で示されています。

または

- Trapper ツールバーのハンド ツール をクリックし、Trapper ウィンドウをクリックして、マウスボタンを押しながら Trap ウィンドウのフォーカスを開いているページの別の部分に移動します。

Acrobat ウィンドウの表示用の四角形は、Trapper 表示が表示されたページにフォーカスが置かれるように平行に移動します。

備考： ページ全体が Acrobat ウィンドウで表示される場合、Trapper ウィンドウの倍率を増大します。次に、Acrobat ウィンドウの中で表示用の四角形を移動して、ページの内容をチェックし、Trapper ウィンドウでより綿密にトラップすることができます。

パンニングのキーボード ショートカット

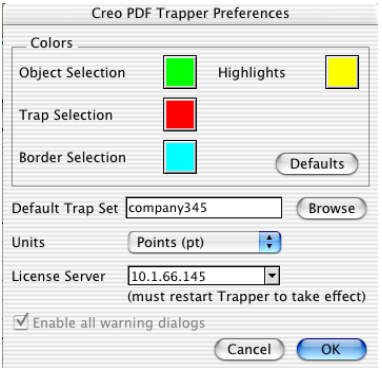
スペース バーを押しながら、(左) マウス ボタンをクリックしてドラッグします。ハンド ツールが表示され、イメージを移動するために使用することができます。Acrobat ウィンドウの表示用の四角形が平行に移動します。

選択とハイライトのカラーの設定

オブジェクト、トラップ、ボーダー、およびハイライトが Trapper ウィンドウで選択されたときに表示されるカラーを選択できます。Trapper プラグインを閉じているときも、開いているときも、[Preference(環境設定)] メニューが使用できます。

1. Acrobat メイン メニューで、[**編集**] > [**環境設定**] > [**Creo PDF Trapper**] を選択します。Macintosh OS X の場合、メイン ツールバーの [**Acrobat**] アプリケーション メニューを使用します。[**Acrobat**] > [**環境設定**] > [**Creo PDF Trapper**]。

Trapper の [Preference s (環境設定)] ダイアログ ボックスが表示されます。



2. 以下のいずれかに対してカラー スウォッチをクリックします。
   - オブジェクト選択
   - トラップ選択
   - ボーダー選択
   - ハイライト

   カラー選択チャートが表示されます。
3. 基本またはカスタム カラー スウォッチを選択します。
4. **[OK]** をクリックしてカラー選択チャートを閉じます。
5. 各ハイライトの設定に対してステップ 2 から 4 を繰り返します。

   または

   [Defaults(デフォルト)] をクリックすると、ハイライト アイテムを Trapper が定義したカラーに戻します。

6. **[OK]** をクリックして、Trapper の [Preference(環境設定)] ダイアログ ボックスを閉じます。

Trap Viewer または Trap Editor で、オブジェクト、トラップ、および/またはボーダーを選択すると、選択されたアイテムは、選択したカラーで表示されます。

[Highlight objects set to overprint(ハイライトしたオブジェクトをオーバープリントに設定)] および **[Highlight traps(ハイライト トラップ)]** ボタンをクリックすると、オブジェクトおよび/またはトラップが選択したハイライト カラーで表示されます。

デフォルトのトラップ セット名の入力

トラップ設定のワークフローの最適化を参照してください。

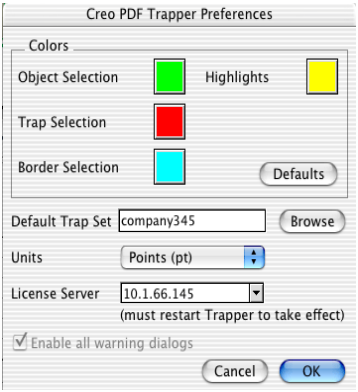
表示および編集単位の設定

トラップを表示、編集、および作成するときに使用する測定単位を選択できます。

1. Acrobat メイン メニューで、**[編集]** > **[環境設定]** > **[Creo PDF Trapper]** を選択します。Macintosh OS X の場合、メイン ツールバーの **[Acrobat]** アプリケーション メニューを使用します。**[Acrobat]** > **[環境設定]** > **[Creo PDF Trapper]**。

   Trapper の [Preference s (環境設定)] ダイアログ ボックスが表示されます。

.



2. [**Unit(単位)**] ドロップダウン ボックスから次の 1 つを選択します。
   - ポイント
   - インチ
   - ミリメートル
3. [**OK**] をクリックして、Trapper の [Preference(環境設定)] ダイアログ ボックスを閉じます。

ライセンス サーバー名の入力

初めて Trap Editor プラグイン ボタンをクリックすると、Trapper はネットワーク上のプライマリー サーバーを、そのプラグインのトラッピング ライセンスをもつサーバーについて調べます。Trapper が使用できるトラッピング ライセンスをもつプライマリ サーバーを見つけると、サーバー名が Trapper の [Preferences(環境設定)] ダイアログ ボックスに記録されます。

このダイアログボックスは、Acrobat の [**Preference(環境設定)**] > [**Creo PDF Trapper**] > [**License Server(ライセンス サーバー)**] の下の Acrobat の [Edit(編集)] メニューのダイアログ ボックスからアクセスできます。

または

Macintosh OS X の場合、メイン ツールバーの [**Acrobat**] アプリケーション メニューを使用します。[**Acrobat**] > [**環境設定**] > [**Creo PDF Trapper**]。

ネットワークでフローティング ライセンス マネージャを実行する複数のプライマリー サーバーがある場合、その名前は、[**License Server(ライセンス サーバー)**] ドロップダウン ボックスにリストされます。

[**License Server(ライセンス サーバー)**] にサーバー名または IP アドレスを入力することもできます。Trap Editor プラグインを再開すると、新しい名前がデフォルト ライセンス サーバーになります。

図 6を参照してください。

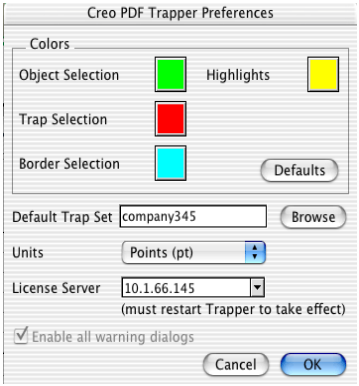


図 6: [Preferences(環境設定)] ダイアログ ボックスのライセンス サーバー

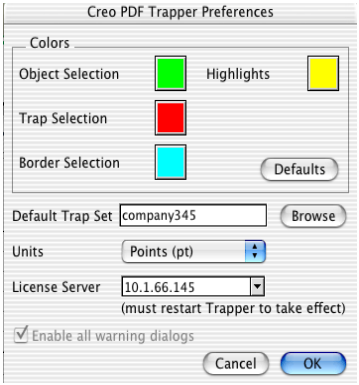
警告の表示または非表示

一般的に、トラッピング セッション中に制限や不当なアクションに関する警告メッセージが表示されます。これらのメッセージは、メッセージがセッション中に再び表示されないようにするために現れるダイアログで抑止できます。

警告が抑止されているときに、それらを見直したい場合、[**Enable all warning dialogs(すべての警告ダイアログを有効にする)**] チェックボックスをチェックして、再び有効にできます。警告が抑止されている場合、チェックボックスは使用できません。

1. Acrobat メイン メニューで、[**編集**] > [**環境設定**] > [**Creo PDF Trapper**] を選択します。Macintosh OS X の場合、メイン ツールバーの [**Acrobat**] アプリケーション メニューを使用します。[**Acrobat**] > [**環境設定**] > [**Creo PDF Trapper**]。

Trapper の [Preference s (環境設定)] ダイアログ ボックスが表示されます。



2. [**Enable all warning dialogs(すべての警告ダイアログを有効にする)**] チェックボックスを選択して、トラッピング セッション中に発生する抑止された警告を表示します。
3. [**OK**] をクリックして、Trapper の [Preference(環境設定)] ダイアログ ボックスを閉じます。

オブジェクト、トラップ、およびボーダーの選択

すべての Trapper 選択方法は、Properties Viewer または Properties Editor のいずれかで選択リストを構築する際に使用することができます。

選択可能なオブジェクト タイプ、トラップ、ボーダー 35 ページ

マウス クリックによる選択 36 ページ

マーキーによる選択 37 ページ

属性およびコンテキストによる選択 39 ページ

リストからの選択の削除 43 ページ

選択されたアイテムの容易な検索 43 ページ

各選択方法については、Trapper ウィンドウをクリックすると最も近いアイテムが選択されます。同じ選択リストにオブジェクト、トラップ、およびボーダーを追加できます。

[Properties(プロパティ)] ダイアログ ボックスで選択されたいアイテムのプロパティをチェックします。

選択可能なオブジェクト タイプ、トラップ、ボーダー

オブジェクト、トラップ、またはボーダーが選択されると、そのアイコンが [Properties (プロパティ)] ウィンドウに表示されます。

オブジェクト タイプとアイコン

以下のオブジェクト タイプが Creo PDF Trapper で認識されます。

- 塗りつぶしオブジェクト 
- ストローク オブジェクト 
- テキスト オブジェクト 
- イメージ 
- マスクされたイメージ 
- 複雑なビットマップ 
- グラデーション (軸に沿ったブレンドおよび円形ブレンド) 

透明オブジェクトとコピードット イメージは認識されますが、選択またはトラッピングできません。

トラップ アイコン

[Properties(プロパティ)] ウィンドウのトラップ アイコンは、次のとおり表示されます 

ボーダー アイコン

[Properties(プロパティ)] ウィンドウのボーダー アイコンは、次のとおり表示されます 

選択されたオブジェクト、トラップ、およびボーダーに関する詳細は、トラップしたページの検査 を参照してください。

マウス クリックによる選択

選択アイテムのリストは、[Properties(プロパティ)] ウィンドウに表示されます。

1. Trap Viewer または Trap Editor セッションを開始します。
2. 選択リストに追加するアイテムによって、Trapper の縦のツールバーで以下のいずれかをクリックしてください。
   - **[Select Object (オブジェクトの選択)]** ボタン 
   - **[Select Trap (トラップの選択)]** ボタン 
   - **[Select Border(ボーダーの選択)]** ボタン 
3. 最初のアイテムを選択するには、Trapper ウィンドウでオブジェクト、トラップ、またはボーダーをクリックします。

   選択されたアイテムは、選択とハイライトのカラーの設定 で指定されたカラーでハイライトされます。さらに、オブジェクトは、明るいドットのパターンでアウトライン化され、オーバーレイされます。
4. 選択グループに追加するには、SHIFT キーを押しながら別のアイテムをクリックしてください。
5. 選択リストから選択されたアイテムを削除するには、SHIFT キーを押しながら、アイテムをクリックします。
6. 満足する選択リストになるまで、ステップ 2、4、および 5 を繰り返してください。

マウスクリックで選択するためのキーボード ショートカット

これらのショートカットは一時的に現在のモードをオーバーライドします。

これらのショートカットは SHIFT キーと組み合わせて使用して、アイテムの追加と削除の間で切り替えることもできます。

オブジェクト選択モードに切り替え、オブジェクトを選択するには

Macintosh: ⌘ (Command) + クリック

Windows: CTRL (Control) + クリック

トラップ選択モードに切り替え、トラップを選択するには

Macintosh: OPTION + クリック

Windows: ALT + クリック

ボーダー選択モードに切り替え、ボーダーを選択するには

Macintosh: ⌘ (Command) + OPTION + クリック

WIndows: CTRL + ALT + クリック

選択リストに選択を追加または削除するには

Windows および Macintosh: SHIFT + クリック

マーキーによる選択

マーキーの選択では、同時に複数のアイテムを簡単に選択できます。選択アイテムのリストは、[Properties(プロパティ)] ウィンドウに表示されます。

1. Trap Viewer または Trap Editor セッションを開始します。

2. 選択リストに追加するアイテムによって、Trapper の縦のツールバーで以下のいずれかをクリックしてください。
   - **[Select Object (オブジェクトの選択)]** ボタン 
   - **[Select Trap (トラップの選択)]** ボタン 
   - **[Select Border(ボーダーの選択)]** ボタン 
3. いくつかのアイテムを同時に選択するには、マウス ボタンを押しながら選択用の四角形 (マーキー) で該当するアイテムを完全に囲みます。

   マーキーで完全に囲まれたオブジェクトが選択されます。マーキーに囲まれるか、交差するすべてのトラップまたはボーダーが選択されます。

   選択されたアイテムは、選択とハイライトのカラーの設定 で指定されたカラーでハイライトされます。オブジェクトは、明るいドットのパターンでアウトライン化され、オーバーレイされます。
4. リストを選択するには、SHIFT をクリックして追加するアイテムの周りにマーキーを描きます。
5. 選択リストから選択されたオブジェクトを削除するには、SHIFT をクリックし、リストからドロップしたいオブジェクトを完全に囲むようにマーキーを描きます。マーキーの中の選択されたオブジェクトが、リストから削除されます。
6. 満足する選択リストになるまで、ステップ 2、4、および 5 を繰り返してください。

備考 : ページ全体の周りにマーキーを描いて、すべてのオブジェクト、トラップ、および / またはボーダーを選択することができます。

マーキーによる選択のキーボード ショートカット

これらのショートカットは一時的に現在のモードをオーバーライドします。



これらのショートカットは SHIFT キーと組み合わせて使用して、アイテムの追加と削除の間で切り替えることもできます。

オブジェクト選択モードに切り替え、オブジェクトを選択するには

Macintosh: ⌘ (Command) + マーキー

Windows: CTRL (Control) + マーキー

トラップ選択モードに切り替え、トラップを選択するには

Macintosh: OPTION + マーキー

Windows: ALT + マーキー

ボーダー選択モードに切り替え、ボーダーを選択するには

Macintosh: ⌘ (Command) + OPTION + マーキー

Windows: CTRL + ALT + マーキー

選択リストに選択を追加または削除するには

Windows および Macintosh: SHIFT + クリック

属性およびコンテキストによる選択

ページの中の属性やコンテキストに従ってオブジェクト、トラップ、およびボーダーを選択できます。選択アイテムのリストは、[Properties(プロパティ)] ウィンドウに表示されます。

コンテキスト メニュー では、以下の選択肢があります。



- オブジェクトに関連するトラップやボーダーを選択できます。すなわち、選択の「コンテキスト」メソッドです。同じカラーの組合せをもつボーダーやトラップをグループ化し、再トラップできます。
- 最も近いオブジェクト、複数のオブジェクト、または同じプロパティをもつすべてのオブジェクトを選択できます。すなわち、「属性による選択」メソッドです。同じタイプおよび/またはカラー、および同じオーバープリント ステータスのオブジェクトを選択できます。

1. Trap Viewer または Trap Editor セッションを開始します。

   Macintosh クライアントでは、CONTROL を押しながらマウスを配置し、Trapper ウィンドウのアイテムの上をクリックします。

   または

   Windows クライアントでは、マウスを配置し、Trapper ウィンドウのアイテムの上を右クリックします。

   コンテキスト メニューは、選択されたアイテムのタイプ、属性、およびそのコンテキストに従って変動するメニューの選択肢がオープンされ、示されます。

2. 以下のメニュー アイテムのいずれか 1 つをクリックします。
   - オブジェクトの選択
   - オブジェクトのトラップの選択
   - オブジェクトのトラップおよびボーダーの選択
   - 同じタイプおよびオーバープリント ステータスのオブジェクトの選択
   - 同じカラーおよびオーバープリント ステータスのオブジェクトの選択
   - 同じタイプ、カラーおよびオーバープリント ステータスのオブジェクトの選択



または、ページのどの部分 (オブジェクトが重なっていたり、トラップがある場合など、オブジェクト、オブジェクト タイプの上または外側) をクリックするかによって選択することもできます。

- カラー ペアのトラップ/ボーダーの選択
- すべてのカラー ペアのトラップ/ボーダーの選択
- 選択されたオブジェクトのトラップの選択
- 選択されたオブジェクトのボーダーの選択
- すべてを選択解除

選択されたアイテムは、選択とハイライトのカラーの設定 で指定されたカラーでハイライトされます。

[**Deselect all(すべてを選択解除)**] を選択することで、選択リスト全体がクリアされます。

3. 複数のアイテムを追加するためには、CONTROL + SHIFT + クリック(Mac) または SHIFT + 右クリック(Windows) を使用してコンテキスト メニューを呼び出します。メニュー アイテムを選択します。

   これは、[Properties(プロパティ)] ダイアログ ボックスですでに蓄積された選択リストに追加します。

4. コンテキスト　メニューを使用して選択リストから選択されたアイテムを削除するには、コンテキスト メニューを呼び出し、メニュー アイテムをクリックしてその選択をクリアします。



図 7: コンテキストまたは属性によるアイテムの選択



リストからの選択の削除

選択したアイテムは、Properties Viewer または Properties Editor にリストされます。リストからそれらを削除するには

- SHIFT キーを押しながら選択されたアイテムをクリックします。または、
- SHIFT キーを押しながら選択されたアイテムをマーキーで囲みます。または、
- SHIFT キーを押し、コンテキスト選択メニューを使用してもう一度アイテムを選択します。

選択されたアイテムの容易な検索

Trapper の点滅するハイライトは選択されたアイテムを Trapper ウィンドウで見やすくします。

- Macintosh クライアントで、[Properties(プロパティ)] ウィンドウでアイテムのアイコンをクリックしたままにします。

または

- Windows クライアントで、[Properties(プロパティ)] ウィンドウのアイテムのアイコンで左マウスボタンクリックしたままにします。

  選択とハイライトのカラーの設定 で指定されたハイライト カラーで選択されたアイテムが点滅します。

備考： この点滅するハイライト機能は、アイテムが正しくトラップされているか、または編集されているかをチェックするために、同じ特徴のアイテムのグループをハイライトするのに役立ちます。

トラップしたページの検査

Trap Viewer プラグインで使用可能な Properties Viewer を使用して選択したオブジェクト、トラップ、およびボーダーの特徴をチェックすることができます。

Properties Viewer 機能は、Trap Editor ライセンス プラグインで使用可能な Properties Editor で追加されます。プロパティの編集とトラップの生成を参照してください。

Properties Viewer のオープン 45 ページ

オブジェクトのプロパティのチェック 46 ページ

トラップのプロパティのチェック 47 ページ

ボーダーのプロパティのチェック 49 ページ

カラー分版のチェック 51 ページ

オーバープリントにセットされているオブジェクトのハイライト 52 ページ

すべてのトラップのハイライト 53 ページ

すべてのトラップの非表示 53 ページ

透明オブジェクトの非表示 54 ページ

オブジェクト、トラップ、およびボーダーの選択および選択されたアイテムの容易な検索を参照してください。

Properties Viewer のオープン

選択したオブジェクト、トラップ、およびボーダーに関するすべての情報は、Properties ウィンドウにリストされます。たとえば、Trap Viewer セッションの Properties Viewer、Trap Editor セッションの Properties Editorです。

- Trap Viewer セッション内からクリックして、Trap Viewer の縦のツールバーの [**Properties Viewer**] ボタン  を切り替えます。

または

- Trapper セッションの中から、Acrobat メイン メニューの [**ツール**] > [**Creo PDF Trapper**] を選択し、[**Properties Viewer**] をチェックして、ウィンドウを開くか、[**Properties Viewer**] をクリアして [Properties(プロパティ)] ウィンドウを閉じます。Macintosh OS X の場合、メイン ツールバーの [**Acrobat**] アプリケーション メニューを使用します。

Properties Viewer を使用して、以下をチェックします。

- オブジェクトのタイプ、オブジェクトの数、ニュートラル濃度、カラー フォーミュラ、およびオーバープリント ステータス。
- トラップの数、隣接するオブジェクト、ニュートラル濃度、カラー フォーミュラ、サイズ、および結線スタイル。
- ボーダーの数、隣接するオブジェクトのニュートラル濃度、およびカラー フォーミュラ。

Properties Editor を使用して、有効なオブジェクト、トラップ、およびボーダーのプロパティを変更します。プロパティの編集とトラップの生成を参照してください。



オブジェクトのプロパティのチェック

Properties ウィンドウのオブジェクト プロパティに対して Trapper ウィンドウ内に表示されることをチェックします。Trapper ウィンドウの倍率またはフォーカスを変更して、表示を改善します。

選択されたオブジェクトの場合、Properties ウィンドウは以下を表示します。

- ダイアログ ボックスの左ペインのオブジェクト タイプ アイコン
- オブジェクト タイプ名 (イメージ、マスクされたイメージ、塗りつぶされたイメージ、グラデーション、テキスト オブジェクト、ストローク オブジェクトなど)
- オブジェクト タイプの数 (すなわち、オブジェクトが存在する場合は、同様の特徴に従ってグループ化され、数えられます。)
- ニュートラル濃度
- カラー スワッチと分版 (示されるカラーはメディアン カラーです) で、CMYK のパーセントとスポット カラーと共に示される
  - ~nn.n 値、nn.n は 0 から 100% の間の値で、オブジェクトのカラー分版セルに表示され、イメージまたはグラデーションに対する濃淡値であることを意味します。
  - #nn.n 値、nn.n は 0 から 100% の間の値で、オブジェクトのカラー分版セルに表示され、複雑なビットマップのマスクおよび濃淡値であることを意味します。
  - オブジェクトのカラー分版セルに表示される nn.n 値は、カラー分版の 0 から 100% までの濃淡を表します。
- オーバープリント ステータス (オン/オフ)

オブジェクトのステータスをオーバープリントまたはノックアウトに変更するには、オブジェクトのオーバープリントまたはノックアウトへの設定 参照してください。

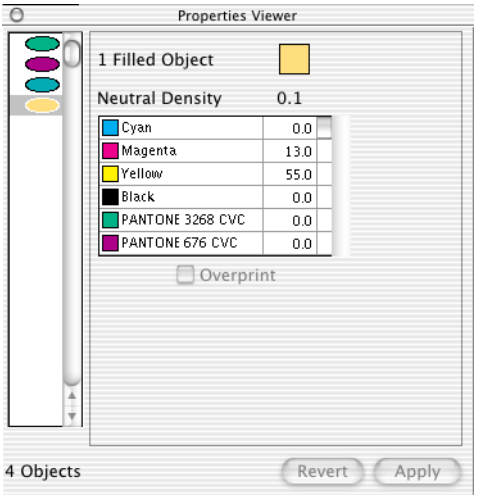


図 8: オブジェクトのプロパティ

トラップのプロパティのチェック

Properties ウィンドウのトラップ プロパティに対して Trapper ウィンドウ内に表示されることをチェックします。Trapper ウィンドウの倍率またはフォーカスを変更して、表示を改善します。

選択されたトラップの場合、Properties ウィンドウは以下を表示します。

- 左ペインの選択されたトラップ アイコン



- 選択されたトラップの数
- トラップおよび隣接カラーのスワッチ
- トラップ方向
- ニュートラル濃度
- トラップおよび隣接オブジェクトのカラー分版 (CMYK パーセントおよびスポット カラー)。詳細については、トラップ カラーの編集を参照してください。
- トラップ サイズ (幅と高さ)

Advanced Trap Editor でのみリストされる追加プロパティ：

- 結線スタイル
- マイター制限
- 3 色ジョイン (マイター コーナー、クリップ チョーク)

注記: カラー ペアなどの選択されたグループが複数の異なる、または混在するトラップを含む場合、トラップ値は Properties ウィンドウに * (アスタリスク) を付けて表示され、結線スタイル プルダウン メニューは空白として表示され、切り替えボタンは修正されたチェック マークを表示することがあります。グループに少なくとも 1 つのトラップされていないボーダーが含まれている場合、カラーラントのみが表示され、ほかの値は無効になります。

トラップ方向、カラー、またはサイズを変更するためには、プロパティの編集とトラップの生成 を参照してください。

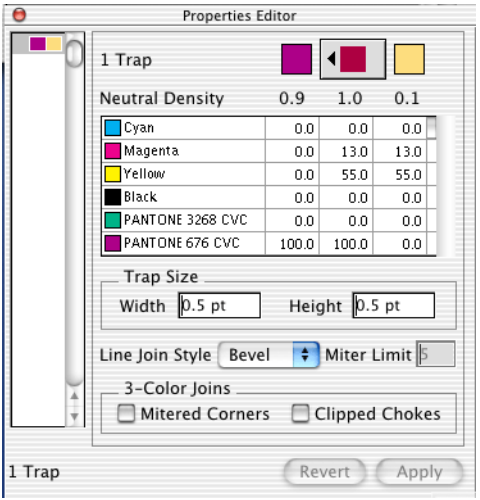


図 9: トラップ プロパティ

ボーダーのプロパティのチェック

Properties ウィンドウのボーダー プロパティに対して Trapper ウィンドウ内に表示されることをチェックします。Trapper ウィンドウの倍率またはフォーカスを変更して、表示を改善します。

選択されたボーダーの場合、Properties ウィンドウは以下を表示します。

- 左ペインの選択されたボーダー アイコン
- 選択されたボーダーの数

- オブジェクトおよびボーダー スワッチ
- トラップの方向 (潜在的なトラップは | として表示されます)
- ニュートラル濃度
- 隣接オブジェクトのカラー分版 (CMYK パーセントおよびスポット カラー)

Properties Editor を使用したボーダーのトラッピング も参照してください。

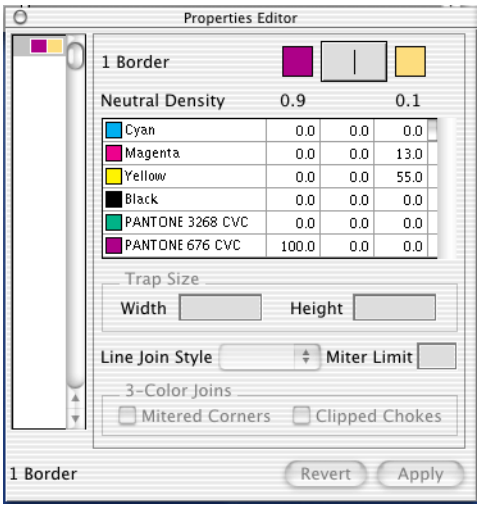


図 10: ボーダーのプロパティ

カラー分版のチェック

Separations(カラー分版) ウィンドウには、開いた PDF ファイルに存在する任意の CMYK およびスポット カラーのスワッチを表示します。これらのカラーを操作して、必要に応じてページのカラー分版の間のカラー境界線を見やすくすることもできます。Creo PDF Trapper の Trap Viewer と Trap Editor バージョンカラー分版をチェックすることもできます。

Separations Viewer を開いておくと、PDF ファイルのオーバープリントは Trapper 表示でレンダリングされるので、オブジェクトやその他のトラップの表示形式とプロパティをチェックするときに役立ちます。

備考： Separation Viewer をオフにすると、Trapper 表示はパンニング、ズーム、またはプロパティの変更適用時に素早く再描画されます。

1. Trapper の縦のツールバーの Separations Viewer ボタン  をクリックします。

   または

   Acrobat メイン メニューから、[**ツール**] > [**Creo PDF Trapper**] を選択し、[**Separations Viewer**] をクリアして Separations(カラー分版) ウィンドウを閉じるか、[**Separation Viewer**] をチェックしてウィンドウを開きます。

   Separations ウィンドウが開き、ファイルに存在するカラー (CMYK およびスポット カラー)、スライド バーおよびカラー名を表示します。

2. ダイアログ　ボックスの右上端をドラッグしダイアログ　ボックスを小さくして、「スワッチのみ」を表示することができます。

3. Separation　ウィンドウで、Trapper　ビューのカラーを明るくしたり、暗くするために、各スワッチのスライダを使用します。たとえば、暗いカラーのトラップの上のカラーを明るくしてトラップの下にあるほかのカラーを表示したり、オブジェクトがノックアウトにセットされているかどうかを確認することができます。

4. Separations ウィンドウで、クリックしてスワッチの目のアイコンを閉じ、ページの Trapper 表示からカラーを取り除きます。もう一度クリックして、カラーを復元します。

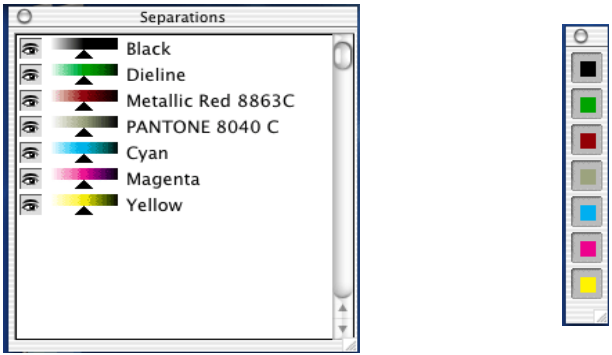


図 11: Separation Viewer ウィンドウとスワッチのみの表示

注記: Separation Viewer を使用してカラーを明るくしたり、暗くしたり、オフにすることは、Separation View のカラーにのみ影響し、出力されるカラーが変更されることはありません。

オーバープリントにセットされているオブジェクトのハイライト

オブジェクトのハイライトは、オーバープリントに現在セットされているオブジェクトの PDF での表示を改善し、オブジェクトのオーバープリント ステータスをチェックしたり、変更しやすくします。

1. Trapper セッションでは、Trapper の縦のツールバーで、[**Highlight objects set to overprint(オーバープリントにセットされたオブジェクトをハイライト)**] ボタン をクリックします。

すべてのオーバープリント オブジェクトは、Trapper ワークスペースをセットアップするときに選択したハイライト カラーで表示されます。

2. 準備ができたら、[**Highlight objects set to overprint(オーバープリントにセットされたオブジェクトをハイライト)**] ボタンをもう一度クリックして、ハイライトをオフにします。

すべてのトラップのハイライト

すべてのトラップのハイライトは、PDF のトラップの表示を改善し、トラップをチェックしたり、編集しやすくします。[**Hide traps(トラップの非表示)**] では使用できません。

1. Trapper セッションでは、Trapper の縦のツールバーで、[**Highlight traps(トラップをハイライト)**] ボタン  をクリックします。

   すべてのトラップは、Trapper ワークスペースをセットアップするときに選択したハイライト カラーで表示されます。

2. 準備ができたら、[**Highlight traps(トラップをハイライト)**] ボタンをもう一度クリックして、ハイライトをオフにします。

すべてのトラップの非表示

トラップ解除された場合に PDF ページがどのように表示されるかを確認するために、すべてのトラップを非表示にすることができます。この機能は、現在のトラップがページのオブジェクトを遮っている場合に特に便利です。[**Highlight traps(トラップのハイライト)**] では使用できません。

1. Trapper セッションでは、Trapper の縦のツールバーで、[**Hide traps(トラップを非表示)**] ボタン  をクリックします。

   トラップは Trapper ウィンドウでは表示されません。

2. 準備ができたら、[**Hide traps(トラップを非表示)**] ボタンを再びクリックし、すべてのトラップを表示します。

透明オブジェクトの非表示

PDF ファイルをセットアップしている間にインクを透明にセットすると、そのインクのオブジェクトは表示されますが、Trapper 表示では選択できません。

使用可能なインク タイプについては、インクの種類とトラッピング規則 を参照してください。

1. Trapper セッションでは、Trapper の縦のツールバーで、[**Hide transparent objects (透明オブジェクトを非表示)**] ボタン  をクリックします。

   透明インクのオブジェクトは、Trapper ウィンドウで表示されなくなります。

2. 準備ができたら、[**Hide transparent objects(透明オブジェクトの非表示)**] ボタンをもう一度クリックして、透明インクのオブジェクトを表示します。

プロパティの編集とトラップの生成

Properties Editor を使用して、オブジェクト、編集トラップ、トラップ ボーダーのオーバープリント ステータスを変更できます。

Properties Editor のオープン 56 ページ
オブジェクトのオーバープリントまたはノックアウトへの設定 57 ページ
トラップ方向の編集 58 ページ
トラップ カラーの編集 59 ページ
トラップ サイズの変更 61 ページ
トラップ ジオメトリの変更 62 ページ
Properties Editor を使用したボーダーのトラッピング 62 ページ

Trap Editor のトラッピング ダイアログを使用して、トラップを変更または再生成できます。

トラッピング ダイアログ ボックスのオープンおよび選択 64 ページ
ページのトラッピング 68 ページ
選択されたオブジェクトまたはボーダーのトラッピング 69 ページ
ページの別の領域のトラッピング 71 ページ
トラップ パスの編集 71 ページ
選択されたトラップの削除 72 ページ
すべてのトラップの削除 72 ページ

Trap Editor セッション中にアクションを取り消し、およびやり直しできます。

アクションの取り消しとやり直し 72 ページ

Properties Editor のオープン

Properties Editor は Properties Viewer と同じオブジェクト、トラップ、およびボーダー情報を表示します。オブジェクト、トラップ、またはボーダーのいずれを選択するかによって、Properties Editor を使用して選択対象の属性を変更することもできる点が異なります。

- Trap Editor セッション内からクリックして、Trap Editor の縦のツールバーの [**Properties Editor**] ボタン  を切り替えます。

または

- Trap Editor セッションの中から、Acrobat メイン メニューの [**ツール**] > [**Creo PDF Trapper**] を選択し、[**Properties Editor**] をチェックして、ウィンドウを開くか、[**Properties Editor**] をクリアして [Properties(プロパティ)] ウィンドウを閉じます。

Properties Editor は以下の目的で使用します。

- オブジェクトをオーバープリントまたはノックアウトにセットする
- トラップ方向とトラップ分版カラーを変更する
- トラップ サイズ (幅と高さ) を変更する
- 結線スタイル、マイター制限、3 色結合 (Advanced Trapping のみ) を変更する
- ボーダーをトラップする

注記: トラップのグループ化など、複数のアイテムを含むグループを編集するときは、グループのすべてのトラップのトラップ プロパティを変更することができ、そのプロパティに対して * (アスタリスク) で示された異なっている、または混在する値は、定数になります。混合値を編集しないままにした場合、各トラップは元のプロパティを保留します。

Properties Editor に入力したばかりの編集上の変更を消去するためには、[**Apply(適用)**] をクリックする前に、[**Revert(復帰)**] ボタンをクリックします。

オブジェクトのオーバープリントまたはノックアウトへの設定

Properties Editor ウィンドウのオブジェクトのオーバープリント状態を変更できます。

オブジェクトのオーバープリント ステータスの変更は、オブジェクトに行うことができる唯一の変更です。

1. Trap Editor セッション内から、オブジェクトを選択します。
2. [**Properties Editor**] ダイアログ ボックスの左側のペインのオブジェクトのアイコンを選択します。
3. [**オーバープリント**] チェックボックスを選択して、オブジェクトをオーバープリントにセットします。実際に、オブジェクトはページのほかのオブジェクト、トラップ、およびボーダーの上を「フローティング」し、このオブジェクトのトラップの必要をなくします。

   または

   チェックボックスをクリアして、オーバープリントを削除し、オブジェクトを「ノックアウト」にセットするか、ページでその下にあるほかのオブジェクト、トラップ、およびボーダーを削除します。オブジェクトをトラップする必要が出てくる場合があります。
4. [**Apply(適用)**] をクリックします。

オブジェクトはオーバープリントまたはノックアウトにセットされます。オブジェクトがあらかじめトラップされている場合、オーバープリントにセットするとトラップがすべて削除されます。

図 12を参照してください。

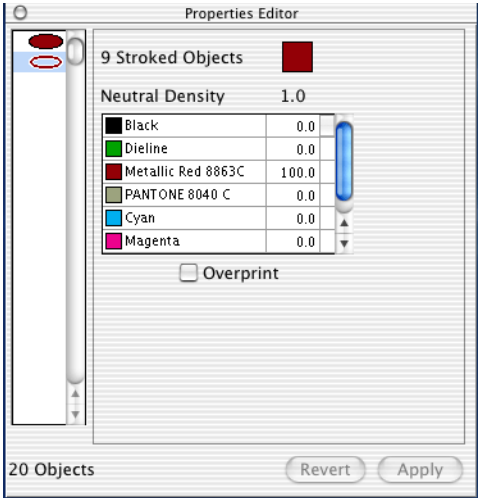


図 12: オブジェクト ステータスを変更するために選択されたオブジェクト

トラップ方向の編集

Properties Editor を使用してトラップ方向を調節できます。

1. Trap Editor セッション内から、トラップを選択します。
2. [**Properties Editor**] ダイアログ ボックスで、左ペインのトラップのアイコンを選択します。
3. トラップ スワッチ ボタン をクリックして、トラップ方向矢印の候補の間を循環させます。矢印には左、右または中心に向かったものがあります。これらは、トラップが隣接するカラーに関連して拡大または縮小する方向を示します。

トラップ方向を選択します。

4. [**Apply(適用)**] をクリックします。

トラップ カラーの編集

隣接オブジェクトのカラーは互いに加えられ、相互トラップ カラーを作成し、暗すぎるか、見やすいカラーを導く場合があります。結果のトラップ カラーが明るくなるように、カラーラントをセットすることができます。

Properties Editor またはトラッピング ダイアログ ボックスを使用してトラップ カラーを調節します。この手順では、Properties Editor を使用します。トラッピング ダイアログの使用については、トラップ カラーのスケーリング も参照してください。

注記: Separations Viewer を開いておくと、PDF ファイルのオーバープリントは Trapper 表示でレンダリングされるので、オブジェクトやその他のトラップの表示形式とプロパティをチェックするときに役立ちます。

1. Trap Editor セッション内から、トラップを選択します。
2. [**Properties Editor**] ダイアログ ボックスで、左ペインのトラップのアイコンを選択します。

   トラップ スワッチはトラップ カラーを表示します  。トラップのカラー分版はトラップ カラー カラムのセルに表示され、以下のいずれかを含む場合があります。

   - ~nn.n 値、nn.n は 0 から 100% の間の値で、オブジェクトのカラー分版セルに表示され、トラップ領域内の隣接するイメージまたはグラデーションから取得した平均濃淡値であることを意味します。
   - #nn.n 値、nn.n は 0 から 100% の間の値で、オブジェクトのカラー分版セルに表示され、複雑なビットマップによるマスクおよび平均濃淡値であることを意味します。複数のオブジェクトがカラー分版でペイントされる場合、通常のオブジェクト

に1個または複数の複雑なマスクなど、#nn.n はこれらのオブジェクトから取得された最大濃淡値です。

- トラップのカラー分版セルに表示される nn.n 値は、カラー分版の 0 から 100% までの濃淡を表します。

3. トラップのカラー分版を変更するには、ページで使用可能なインクのカラーを指定することができます。

   カラー分版セルをダブルクリックし、

   - 新しい濃淡値 nn.n を入力します。その場合、nn.n はその分版に対する 0 から 100% の間です。
   - ~ (チルド) を入力して、トラップ データをその分版に対する隣接イメージまたはグラデーションから取得するように要求します。[**Apply(適用)**] をクリックすると平均濃淡値は自動的に計算され、表示されます。
   - # (ハッシュ) を入力し、カラー分版の複雑なビットマップから取得されたマスクおよび濃淡を要求します。[**Apply(適用)**] をクリックすると平均濃淡値は自動的に計算され、表示されます。
   - #nn.n を入力します。nn.n は 0 から 100% の間の値で、指定した濃淡で分版の複雑なビットマップから取得されたマスクを要求します。

   トラップのニュートラル濃度は、トラップ分版を編集すると変化します。

4. [**Apply(適用)**] をクリックします。

図 13を参照してください。

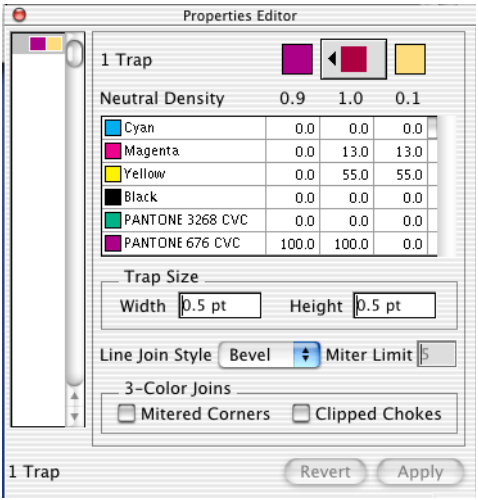


図 13: トラップ プロパティの編集のために選択されたトラップ

トラップ サイズの変更

Properties Editor またはトラッピング ダイアログ ボックスを使用して印刷時に起こる可能性のある誤った登録を補償するためにトラップ サイズを調整できます。この手順では、Properties Editor を使用します。トラッピング ダイアログの使用については、トラップ サイズの設定 も参照してください。

備考： ジョブの推奨トラップ サイズについては、プレス オペレーターに問い合わせてください。

1. Trap Editor セッション内から、トラップを選択します。

2. [**Properties Editor**] ダイアログ ボックスで、左ペインのトラップ アイコンを選択します。
3. [**Trap Size(トラップ サイズ)**] に対しては、トラップの [**Width(幅)**] および [**Height(高さ)**] を入力します。トラップ幅は 0.03 から 15 ポイント (または 0.001 から 0.208 インチ、または 0.011 から 5.291 mm) です。

   高さにはトラップ幅を入力したときに同じ値が自動的に書き込まれます。フレキソ メディアを使用して印刷している場合で、あらかじめ歪んだページとトラップが必要な場合は、幅とは異なる高さが入力できます。
4. [**Apply(適用)**] をクリックします。

トラップ ジオメトリの変更

Advanced Trap Editor で使用できる Properties Editor またはトラッピング ダイアログ ボックスの高度な機能を使用して、2 色または 3 色のトラップが交差するトラップ形状 (ジオメトリ) を変更できます。

パッケージのための高度なトラッピングの使用を参照してください。

Properties Editor を使用したボーダーのトラッピング

これは、オブジェクトのボーダーをトラッピングするための一般的な手順です。複雑なビットマップのボーダーを手動で広げたり、チョーキングする特別な場合については、複雑なビットマップのスプレッドまたはチョーク を参照してください。

1. Trap Editor セッション内から、ボーダーを選択します。
2. [**Properties Editor**] ウィンドウの左側のペインのボーダー アイコンを選択します。

3. ボーダーのスワッチ ボタン  をクリックして、トラップ方向矢印の候補の間を循環させます。矢印には左、右または中心に向かったものがあります。これらは、トラップが配置されるボーダーの側面を示します。トラップ方向を選択します。

   トラップ スワッチはトラップ カラーを表示します。

4. トラップのカラー分版はトラップ カラー カラムのセルに表示され、トラップ カラーの編集 で記載されているように要素を含み、変更することができます。

5. [**Trap Size(トラップ サイズ)**] に対しては、トラップの [**Width(幅)**] および [**Height(高さ)**] を入力します。

6. Advanced Trap Editor では以下を指定できます。

   - **結線スタイル**: **斜角**、**マイター**、**円形**
   - **マイター制限**
   - **3 色結合**: **マイター コーナー**および**クリップされたチョーク**

   これらのパラメータの設定方法については、パッケージのための高度なトラッピングの使用 を参照してください。

7. [**Apply(適用)**] をクリックします。

ボーダーはトラップされます。

図 14を参照してください。

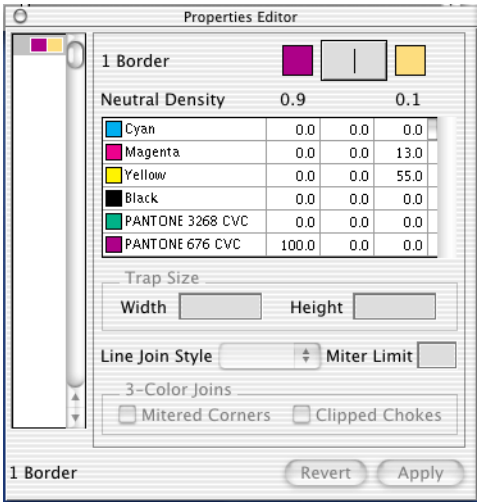


図 14: トラッピングのために選択されたボーダー

トラッピング ダイアログ ボックスのオープンおよび選択

Trap Editor プラグインで使用できる [Simplified(簡略)] または [Detailed(詳細)] トラッピング ダイアログ ボックスを使用してトラップを変更したり、生成できます。

1. Trap Editor セッションの中から、**[Trap Page(トラップ ページ)]** ボタン  をクリックします。

   または

   PDF ファイルでアイテムを選択し、**[Trap the Selection(選択部分をトラップ)]** ボタン  をクリックします。

トラッピング ダイアログ ボックスが開きます。

2. 必要に応じて、トラッピング ダイアログ ボックスの [**Simplified**] または [**Detailed**] 表示のいずれかを選択します。

   各トラッピング ダイアログ ボックスには、以下の 3 つの主なセクションがあります。

   - トラップ セット
   - トラッピング パラメータ
   - トラッピング オプション

トラップ セット

トラップ セットの詳細については、トラップ設定のワークフローの最適化を参照してください。

トラッピング パラメータ

このセクションのトラッピング手順に加えて、生成されたトラップの数の変更と固有のトラッピング パラメータのセットアップを参照してください。

トラッピング オプション

トラッピング オプションは、選択部分のトラッピングまたはページのトラッピングとは異なります。トピックの編集やトラッピングでトラッピング オプションがどのように使用されているかを確認し、また固有のトラッピング パラメータのセットアップ を参照してください。

3. [*Simplified*] トラッピング ダイアログ ボックスで、以下のトラッピング パラメータを使用することができます。

- トラップ　サイズ固有のトラッピング　パラメータのセットアップを参照してください。
- トラッピングしきい値。生成されたトラップの数の変更を参照してください。

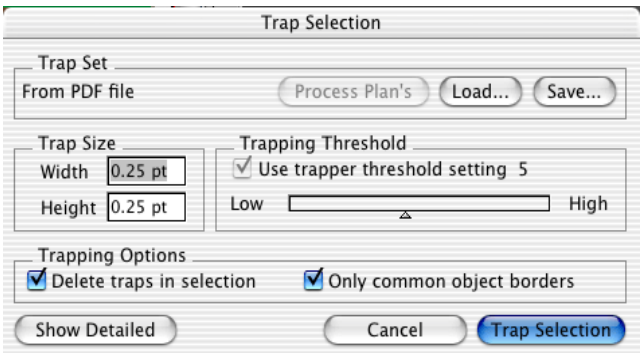


図 15: [Simplified] トラッピング ダイアログ ボックス

4. [*Detailed*] トラッピング ダイアログ ボックスで、以下のトラッピング パラメータを使用することができます。
   - 全般: トラップ サイズ、トラップの決定、トラップの配置
   - ジオメトリ: 結線スタイル、マイター制限、3 色結合

- ブラック: ブラック スケーリング、オーバープリント、特定の強度のインクのトラッピング
- 小さいテキスト: 小さなカラー テキスト スケーリング、小さなブラック テキスト オーバープリン
- イメージ: イメージ-オブジェクト、イメージ-イメージ、トラップ方向、解像度、ビットマップ処理
- インク: カラーラント タイプ、ニュートラル濃度、ステップ制限、カラー スケーリング、ブラックとしての取り扱い、最小相対ステップ制限、カラーラント順位。
- シン ライン: ストロークの分割線トラップ、オーバープリント ブロック ストローク。

これらのパラメータの使用に関する詳細については、生成されたトラップの数の変更 と 固有のトラッピング パラメータのセットアップ を参照してください。

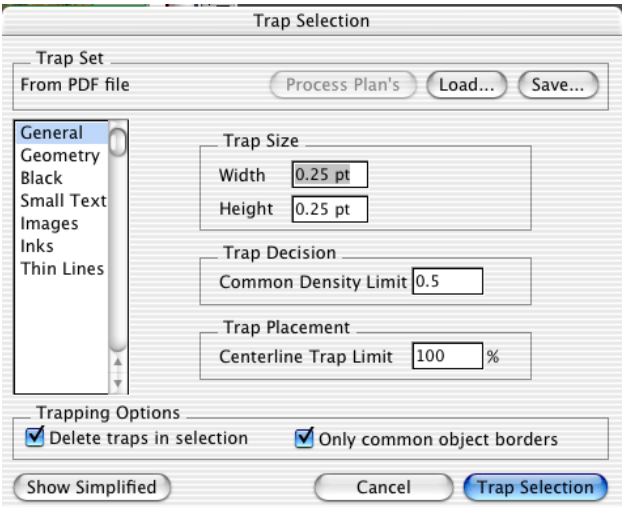


図 16: [Detailed] トラッピング ダイアログ ボックス

ページのトラッピング

すべてのトラップに対して同じトラッピング パラメータを使用してページをトラップすることができます。別のパラメータを使用したページのトラッピングについては、ページの別の領域のトラッピング を参照してください。

注記: 高度なトラップを含むファイルを開く場合、Trap Editor の基本機能を使用してページを引き続き再トラップすることができます。高度なトラップは、それらを特別に削除または再トラップしない限り残されます。

1. Trap Editor セッションの中から、[**Trap Page(トラップ ページ)**] ボタン  をクリックします。
2. [Trap Selection(トラップ選択)] ダイアログ ボックスの [**Simplified**] または [**Detailed**] 表示のいずれかを選択します。
3. トラップ サイズおよび（インク）印刷順序に関するプレス オペレータの助言に従って、トラップ属性を指定します。固有のトラッピング パラメータのセットアップを参照してください。

   または

   [**Load(ロード)**] ボタンをクリックして、あらかじめ保存されているトラップ セットをロードします。トラップ設定のワークフローの最適化を参照してください。
4. ページがあらかじめトラップされている場合、[**Delete existing traps(既存のトラップの削除)**] を選択します。
5. [**Trap Page(トラップ ページ)**] をクリックします。

すべてのトラップが再生成されます。

ページのトラップのキーボード ショートカット

Mac の場合、OPTION と [**Trap Page(トラップ ページ)**] は [Trapping Parameters(トラッピング パラメータ)] ダイアログ ボックス (または Windows の場合、ALT + [**Trap Page**]) をバイパスします。

選択されたオブジェクトまたはボーダーのトラッピング

1. Trap Editor セッションから、トラップするオブジェクトとボーダーを選択します。
2. Trap Editor の横軸のツールバーの [**Trap the Selection(選択部分のトラップ)**] ボタン  をクリックします。



3. [Trap Selection(トラップ選択)] ダイアログ ボックスの [**Simplified**] または [**Detailed**] 設定のいずれかを選択します。
4. トラップ サイズおよび（インク）印刷順序に関するプレス オペレータの助言に従って、トラップ属性を指定します。固有のトラッピング パラメータのセットアップを参照してください。

   または

   [**Load(ロード)**] ボタンをクリックして、あらかじめ保存されているトラップ セットをロードします。トラップ設定のワークフローの最適化を参照してください。

   備考： OPTION および [**Trap the Selection(選択部分のトラップ)**] を押し続け (または Windows の場合は ALT および [**Trap the Selection(選択部分のトラップ)**] をクリックし)、トラップ セットの選択をバイパスし、最後に使用した設定を代わりに再使用します。
5. 以下のトラッピング オプションから 1 つを選択します。
   - トラップを追加するには、[**Delete traps in selection(選択部分のトラップを削除)**] トラッピング オプションをクリアします。これは前のトラップを残すため、新しいトラップが既存のトラップを置き換えずに追加されます。
   - トラップを置換するには、[**Delete traps in selection(選択部分のトラップを削除)**] トラッピング オプションをチェックします。これは、新しいトラップを追加する前に、選択されたオブジェクトの前のすべてのトラップを削除します。
   - 選択したアイテムのみをトラップし、隣接するオブジェクトや隣接するオブジェクトとボーダーをトラップしないためには、[**Common object borders(共通オブジェクト ボーダー)**] トラッピング オプションをチェックします。これにより、選択されたアイテムの間の共通ボーダーのみがトラッピングされます。
6. ダイアログの [**Trap Selection(トラップ選択)**] ボタンをクリックします。



選択されたオブジェクトまたはボーダーがトラップされるか、そのトラップが再生成されます。

注記: 選択されたトラップを再生成するか、ボーダーのトラップを生成するとき、[**Only common object borders(共通オブジェクト ボーダーのみ)**] トラッピング オプションは適用されません。

ページの別の領域のトラッピング

[**Trap Page(ページのトラップ)**] と [**Trap the Selection(選択部分のトラップ)**] を一緒に指定することにより、ページの残りの部分からページの一部を異なる方法でトラップすることができます。一般的には、ページ全体を最初にトラップしてから、ほかのトラッピング パラメータでトラップするページのほかの部分の領域またはアイテムを選択します。ファイルはページ トラップと別のセットのパラメータで生成された特別に選択されたトラップを含みます。

トラップ パスの編集

Advanced Trap Editor で使用可能な高度なトラップ パス編集ツールを使用して、トラップの形状を手動で変更できます。

パッケージのための高度なトラッピングの使用を参照してください。

選択されたトラップの削除

1. Trap Editor セッションの中から、トラップ (または複数のトラップ) を選択します。
2. Trap Editor のツールバーの [**Delete Selected Traps(選択されたトラップの削除)**] ボタン  をクリックします。

選択されたトラップが削除されます。

すべてのトラップの削除

- Trap Editor セッションの中から、Trap Editor ツールバーの [**Delete All Traps(すべてのトラップの削除)**] ボタン  をクリックします。

ページのすべてのトラップが削除されます。

アクションの取り消しとやり直し

Trap Editor アクション バーの [**Undo(取り消し)**] および [**Redo(やり直し)**] ボタンを使用して、セッション操作を通してステップごとに戻るか、1 ステップまたは連続するステップを復元します。これは、Properties Editor と Trap Editor アクション ツールバー (横軸ツールバー) の両方で行われた操作に適用されます。

- Trap Editor セッションの中から [Undo(取り消し)] ボタン  または [Redo(やり直し)] ボタン  を最大 25 回までクリックできます。

各ステップは、選択した場所まで戻るか進む上で役立つように、ステップ中に行ったアクションのラベルが付けられています。

備考： Separations Viewer が開いている場合は、[**Undo(取り消し)**] または [**Redo(やり直し)**] を使用して閉じます。複数のステップを処理するときに、画面の再描画時間を短縮します。必要に応じて、セッションのステップの取り消しまたはやり直しが終了した時点で、Separations Viewer をオンに戻します。

複雑なビットマップのトラッピング

複雑なビットマップの自動トラッピング 74 ページ
複雑なビットマップの手動トラッピング 75 ページ

複雑なビットマップの手動トラッピングには、次の操作が含まれます。

オーバープリントするように複雑なビットマップを設定する 76 ページ
上のオブジェクトへの複雑なビットマップのトラッピング 77 ページ
複雑なビットマップのスプレッドまたはチョーク 79 ページ

複雑なビットマップの自動トラッピング

ラスタ ビットマップの複雑なアウトラインをトラッピングの同等のベクトル アウトラインに変換することは非常に時間がかかり、ビットマップの元の形をゆがませる密度の濃いトラップを導く可能性があります。これらの問題を避けるために、Creo Trapper を自動的にベクトル トラッピングやレンダリングの問題を生じさせる可能性がある複雑なビットマップをスキップするように設定できます。

処理オプション	内容
Trap All(すべてを トラップ)	すべてのビットマップおよびベクトル オブジェクトとしてマスクされたイメージをトラップします。
Ignore Complex(複雑なビットマップを無視)	ペイントされた領域とペイントされていない領域の複雑な形状を定義しないビットマップのみをトラップします。すなわち、処理に 30 秒以上かかり、解像度の高いビットマップです。すべてのトラップされていないビットマップとマスクされたイメージを複雑なビットマップとしてタグ指定します。
Ignore All(すべてを無視)	すべてのビットマップとマスクされたイメージを複雑なビットマップとしてタグ指定します。

Creo PDF Trapper プラグインまたは Creo PDF Trapper JTP のいずれかでトラッピング中に、複雑なビットマップが識別され、スキップされた場合に警告メッセージが表示されます。

必要な場合は、これらのビットマップ処理オプションを実行するために Trap Editor プラグインを使用する方法に関して、イメージのトラッピング を参照してください。



複雑なビットマップの手動トラッピング

新しく識別された複雑なビットマップにはほかのベクトル オブジェクトと異なる選択肢とトラッピング動作があります。Trapper は選択されたラスタ ビットマップ内でペイントおよびペイントされていない領域の間で区別しないため、複雑なビットマップに対して選択されたボーダーは、マスクされないイメージと同様、四角形のラスタ ビットマップの露出された境界となります。

ペイントされた領域のベクトル アウトラインなしで、Trapper は複雑なビットマップとページのほかのオブジェクトの間にめったに自動的にトラップを生成しません。しかし、Trapper プラグインでは、次のとおり、ラスタ トラップを使用して手動で複雑なビットマップをトラップします。

1. 暗いビットマップをトラッピングする代わりに、ビットマップを下にあるペイントされたオブジェクトをオーバープリントするように設定できます。オーバープリントするように複雑なビットマップを設定するを参照してください。
2. Property Editor を使用してボーダーを選択し、該当するトラップ属性を指定することにより、複雑なビットマップとその上にペイントされたオブジェクトの間でトラップできます。上のオブジェクトへの複雑なビットマップのトラッピングを参照してください。
3. ペイントされたマスク領域のトラップを手動でチョーキングするか、広げることにより、複雑なビットマップとその下のペイントされたオブジェクトの間でトラップできます。トラップのチョークとスプレッドは、複雑なビットアップにのみ生成できます。複雑なビットマップのスプレッドまたはチョークを参照してください。

オーバープリントするように複雑なビットマップを設定する

Properties Editor を使用した複雑なビットマップのオーバープリント

1. 手動トラッピングに複雑なビットマップを使用できるように PDF ファイルを処理するとき、[**Ignore Complex(複雑なビットマップの無視)**] または [**Ignore All(すべてを無視)**] オプションを選択します。
2. Trap Editor セッションで、[**Select Object(オブジェクトの選択)**] をクリックし、複雑なビットマップをクリックします。

   または

   CONTROL 複雑なビットマップの上をクリックし、コンテキスト選択メニューを開き、[**Select object(オブジェクトの選択)**] をクリックします。(Windows では右クリックを使用。)

   複雑なビットマップが選択されると、複雑なビットマップ アイコン  が Properties Editor の左ペインに表示され、ビットマップが領域の上でハイライトされます。
3. [**オーバープリント**] チェック ボックスを選択します。
4. [**Apply(適用)**] をクリックします。

複雑なビットマップは、出力時にオーバープリントされます。

複雑なビットマップがあらかじめトラッピングされている場合、オーバープリントにセットするとトラップがすべて削除されます。

トラッピング パラメータを使用した複雑なビットマップのオーバープリント

[**Overprint all black bitmaps(すべてのブラック ビットマップのオーバープリント)**] トラッピング パラメータの使用法については、すべてのブラックで塗りつぶされたオブジェクトをオーバープリント を参照してください。

上のオブジェクトへの複雑なビットマップのトラッピング

この場合、ノックアウト オブジェクトが複雑なビットマップの上に配置されます。

1. 手動トラッピングに複雑なビットマップを使用できるように PDF ファイルを処理するとき、[**Ignore Complex(複雑なビットマップの無視)**] または [**Ignore All(すべてを無視)**] オプションを選択します。
2. Trap Editor セッションで、[**Select border(ボーダーの選択)**] をクリックし、トラップするボーダーをクリックします。

   または

   CONTROL 複雑なビットマップの上をクリックし、コンテキスト選択メニューを開き、[**Select object(オブジェクトの選択)**] をクリックします。(Windows では右クリックを使用。)

   コンテキスト メニューでは、複雑なビットマップとその隣接オブジェクトのすべてのトラップおよびボーダーが Properties Editor に表示されます。
3. Properties Editor の左ペインで、複雑なビットマップとその上のオブジェクトの間のボーダーを選択します。
4. トラップ スワッチ ボタン  をクリックして、トラップ方向矢印の候補の間を循環させます。矢印には左、右または中心に向かったものがあります。これらは、トラップが隣接するカラーに関連してスプレッドまたはチョークする方向を示します。

   トラップ方向を選択します。

トラップ スワッチはトラップ カラーを表示します。複雑なビットマップとその上のオブジェクトは、両方ともトラップのカラーに影響する可能性があります。

5. トラップのカラー分版はトラップ カラー カラムのセルに表示され、トラップ カラーの編集 で記載されているように要素を含み、変更することができます。

6. [**Apply(適用)**] をクリックします。

複雑なビットマップとその上のオブジェクトの間のボーダーがトラップされます。トラップ領域内で、トラップ カラーは隣接するオブジェクトの下の複雑なビットマップの一部によりマスクされる場合があります。結果として、隣接するオブジェクトを通してビットマップを表示するオブジェクト ボーダーに沿った領域が得られます。結果として得られるトラップは、ペイントされたピクセルの複雑なボーダーに沿って作成されたベクトル トラップよりも見にくい場合がよくあります。

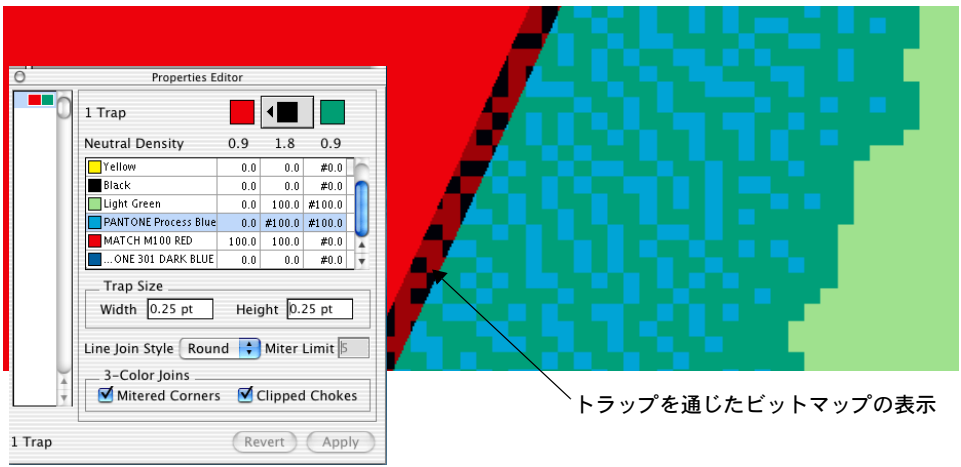


図 17: 複雑なビットマップとその上のオブジェクトのトラッピング



トラップ分版の #nn.n 値は、カラーがビットマップによりマスクされていることを意味します。

複雑なビットマップのスプレッドまたはチョーク

Properties Editor を使用して、下にあるオブジェクトやサブストレートに複雑なビットマップのボーダーを「スプレッド」またはオーバーラップすることができます。カラー分版のために複雑なビットマップのボーダーを「チョーク」または縮小することもできます。チョークまたはスプレッド トラップは、オブジェクトがビットマップの下でペイントされ、ペイントされた領域のアウトラインに沿って表示されるようにします。

オブジェクトはページにレイヤ指定され、手動で複雑なビットマップのスプレッドまたはチョークを行うと、複雑なビットマップの下で露出されたオブジェクトの表示形式にのみ影響を与え、複雑なビットマップの上に描かれたオブジェクトの表示形式やボーダーには影響を与えません。

注記: Separations Viewer を開いておくと、PDF ファイルのオーバープリントは Trapper 表示でレンダリングされるので、オブジェクトやその他のトラップの表示形式とプロパティをチェックするときに役立ちます。

1. 手動トラッピングに複雑なビットマップを使用できるように PDF ファイルを処理するとき、[**Ignore Complex(複雑なビットマップの無視)**] または [**Ignore All(すべてを無視)**] オプションを選択します。
2. CONTROL 複雑なビットマップの上をクリックして、コンテキスト選択メニューを開きます。

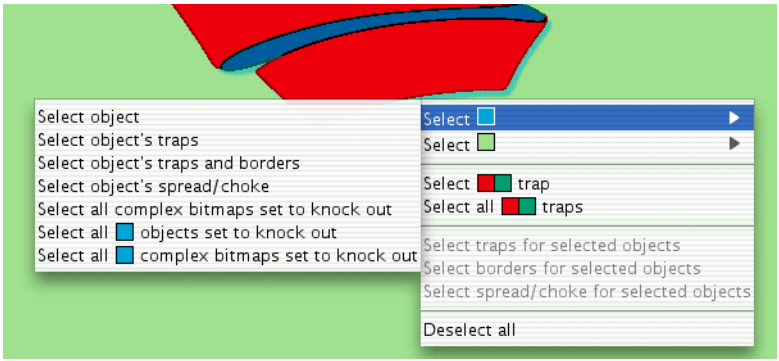


図 18: 複雑なビットマップのコンテキスト選択メニュー

3. **[Select object痴 spread/choke(オブジェクトのスプレッド/チョークを選択)]** をクリックします。(Windows では右クリックを使用。)複数の複雑なビットマップをすでに選択している場合、**[Select spread/choke for selected objects(選択したオブジェクトのスプレッド/チョークを選択)]** をクリックすることができます。

   複雑なビットマップは四角形のアウトラインまたはボーダーの中に表示されます。

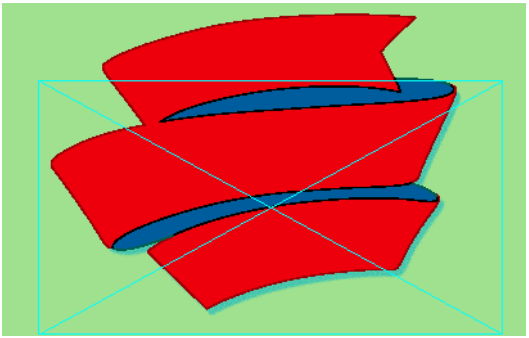


図 19: 選択された複雑なビットマップ アウトライン

4. トラップ スワッチ ボタン  をクリックして、左右のトラップ方向矢印を選択します。これらはトラップがスプレッドまたはチョークする方向を示します。中央に向いたトラッピングは、複雑なビットマップのアウトライン、またはボーダーをトラップするときはサポートされていません。

   トラップ スワッチはトラップ カラーを表示します。

5. トラップのカラー分版はカラー分版テーブルのトラップ カラー カラムのセルに表示され、以下のいずれかを含む場合があります。

   - トラップのカラー分版セルに表示される-(ハイフン)は、このインクがトラップに影響しないか、トラップがこのインクをオーバープリントすることを意味します。ハイフンは複雑なビットマップを手動でスプレッドまたはチョークするときにのみ表示されます。



- # nn.n 値、nn.n は 0 から 100% の間の値で、オブジェクトのカラー分版セルに表示され、複雑なビットマップによるマスクおよび平均濃淡値であることを意味します。複数のオブジェクトがカラー分版でペイントされる場合、通常のオブジェクトに1個または複数の複雑なマスクなど、#nn.n はこれらのオブジェクトから取得された最大濃淡値です。
- トラップのカラー分版セルに表示される nn.n 値は、カラー分版の 0 から 100% までの濃淡を表します。

6. トラップのカラー分版を変更するには、カラー分版セルをダブルクリックし、
   - 新しい濃淡値 nn.n を入力します。その場合、nn.n はそのカラー分版に対する 0 から 100% の間です。
   - - (ハイフン) を入力して、トラップに影響を与えたり、このインクのオーバープリントをトラップさせるカラー分版を避けてください。ハイフンは複雑なビットマップを手動でスプレッドまたはチョークするときにのみ表示されます。
   - # (ハッシュ) を入力し、カラー分版の複雑なビットマップから取得されたマスクおよび濃淡を要求します。[**Apply(適用)**] をクリックすると平均濃淡値は自動的に計算され、表示されます。
   - # nn.n を入力します。nn.n は 0 から 100% の間の値で、指定した濃淡で分版の複雑なビットマップから取得されたマスクを要求します。

   トラップのニュートラル濃度は、トラップ分版を編集すると変化します。
7. **トラップ サイズ**を設定します。

   複雑なビットマップをスプレッドまたはチョークするとき、最終トラップ幅は、複雑なビットマップのピクセル解像度によって決まります。指定したトラップ幅はイメージ解像度の整数地に自動的にマップされ、[**Apply(適用)**] をクリックすると表示されます。最終トラップ幅は最低 1 ピクセルとなります。
8. [**Apply(適用)**] をクリックします。

複雑なビットマップ全t内がスプレッドまたはチョークされます。

チョークまたはスプレッド トラップは、元のラスタ マスクの拡大または縮小バージョンが含まれます。ペイントされたマスクのアウトライン全体を囲む 1 つのラスタ チョークまたはスプレッド トラップのみが生成され、トラップの幅は元のビットマップの解像度により制限されます。スプレッドまたはチョーク トラップのプロパティを編集できますが、トラップ パスが存在する場合はそれを編集できません。

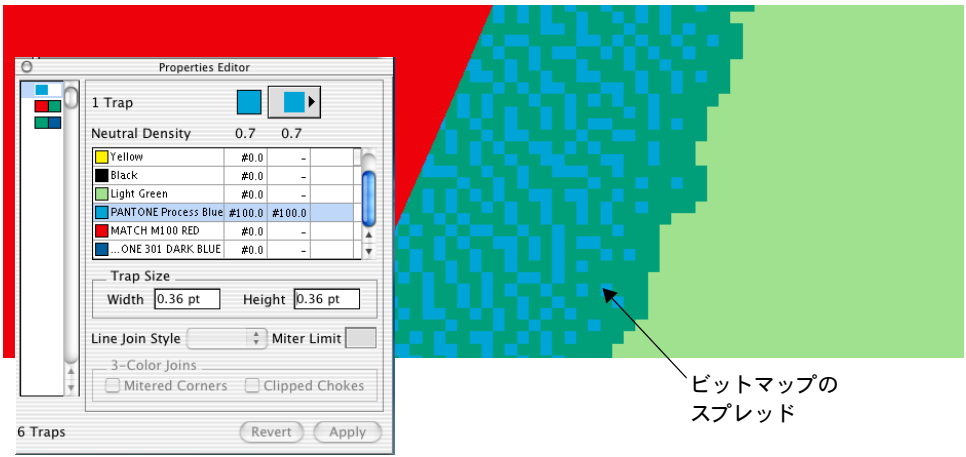


図 20: スプレッド トラップのある複雑なビットマップ

ビットマップのトラップは、暗い青緑のトラップを作成する下の緑をオーバープリントする青です。

生成されたトラップの数の変更

プロパティの編集とトラップの生成 の手順を基礎として、PDF ファイルのトラップを生成するために Trap Editor を使用するときに多くのトラップ決定パラメータをリセットできます。以下を参照してください。

トラッピングの決定に含まれること 85 ページ

Trapper は、Trapping Threshold(トラッピングしきい値) スライドバーを使用してページで発生するトラップの数を調整しやすくします。

トラッピングしきい値の設定 85 ページ

各トラップ決定パラメータを個別に設定することもできます。

共通濃度制限の設定 86 ページ

トラップ方向のの概要 88 ページ

相対ステップ制限の設定 88 ページ

絶対ステップ最低制限の設定 90 ページ

トラッピングの決定に含まれること

Trapper ソフトウェアは、トラップを適用する前に多くの値と PDF ファイルの面を評価します。これらの値には、Trapper のデフォルト値に従って自動的に設定されるトラップ決定パラメータも含まれます。

トラッピング ダイアログ ボックスを使用してトラッピング決定パラメータの一部をリセットすることができます。トラップ決定パラメータには、次のものが含まれます。

- 共通濃度制限
- 相対ステップ制限
- 最小絶対ステップ制限

また、トラップ決定の重要な要素が含まれますが、以下のようなトラップ生成時に直接、ユーザー コントロールの下にないものも含まれます。

- トラップ方向

しかし、Properties Editor では引き続きトラップ方向を編集し、イメージのトラップ方向をオーバーライドできます。

トラッピングしきい値の設定

[Trapping Threshold(トラッピングしきい値)] スライドバーを使用して、ページに設定できるトラップの数を調節できます。スライド バーは**共通濃度制限**と**ステップ制限**パラメータを変更します。

しかし、ステップ制限と共通密度制限の値を引き続き手動で設定できます。この場合、[Trapping Threshold(トラッピングしきい値)] チェックボックスは選択できません。

1. Trap Editor セッション内から、[**Trap Page(ページのトラップ)**]または[**Trap Selection (選択部分のトラップ)**] ダイアログの [**Simplified(簡略)**]表示を選択します。

2. メジアン値に対して[**User trapper threshold setting(Trapper しきい値設定を使用)**] 5 のボックスをチェックします。

   または

   三角形の矢印をクリックして、しきい値スケールに沿ってスライドさせ、[**Low(低)**] または [**High(高)**] の近くの点を選択します。対応する数値の範囲は 1 から 10 です。

トラッピングしきい値	結果
5 (デフォルト)	[Trapping Threshold(トラッピングしきい値)] が 5 の場合、共通濃度制限は 0.5 に、相対ステップ制限は 25% にセットされます。
低い値	共通密度制限は低く、相対ステップ制限が高い場合。デフォルト設定よりも多くのトラップが生成されます。
高い値	共通密度制限は高く、相対ステップ制限が低い場合。デフォルト設定よりも少ないトラップが生成されます。

共通濃度制限の設定

トラップが共通のカラーをもつ隣接オブジェクトの間で生成されるかどうかに影響する共通濃度制限を設定できます。

共通濃度は、ニュートラル濃度 (カラーの暗さの測定手段) の観点で、2 つのオブジェクトの間の共通のカラー (インク) の測定手段です。ニュートラル濃度は、紙の上のカラー、またはインクの強度の計算値です。

一般的に、隣接オブジェクトは、潜在的な点滅を感知できないようにするような共通のカラーが十分にあるかどうかを評価します。トラップは共通の濃度が共通濃度制限を超える場合に生成されます。これらのカラーをもっと多くまたはもっと少なくトラップするように共通濃度制限を上下させることができます。

1. Trap Editor セッション内から、[**Trap Page(ページのトラップ)**]または[**Trap Selection (選択部分のトラップ)**] ダイアログの [**Detailed(詳細)**]表示を選択します。
2. [**General(全般)**] タブをクリックします。
3. [**Common Density Limit(共通濃度制限)**]を、0.001 から 10 の間の値に設定します。

共通濃度制限	結果
0.5 (デフォルト)	隣接オブジェクトの共通ニュートラル濃度が 0.5 より大きい場合、トラッピングは行われません。 リッチなカラーの間のトラップを効果的に減らします。すなわち、オブジェクトの間のカラーの違いはあまりなく、共通のカラーラントについては増やすということです。
低い値	生成されるトラップの数が少ないことを示します。 リッチなカラーよりも明るいカラーの間で多くのトラップが発生します。すなわち、共通のカラーラントをあまり持たないカラーの間でより多くのトラップが発生します。
高い値	生成されるトラップの数が多いことを示します。 リッチなカラーの間でより多くのトラップが発生します。すなわち、共通のカラーラントをより多くもつカラーです。
10 (最大)	制限がまったく効果をもたないため、生成されたトラップの数が多くなります。

トラップ方向のの概要

この方向は、トラップ決定計算の一部とみなされますが、それ自体は、隣接するカラーラントまたはインクのニュートラル濃度に従って Trapper ソフトウェアにより自動的に計算されます。一般的に、明るいカラーは暗いカラーにトラップされます。

しかし、Properties Editor を使用して、生成されたトラップの方向を変更できます。トラップ方向の編集を参照してください。

さらに、自動的に計算されたトラップ方向をオーバーライドするイメージのトラップの値を設定できます。イメージのトラッピングを参照してください。

相対ステップ制限の設定

カラーラント (インク) の量の相対的な差異に基づいて隣接のカラー (オブジェクト) の間でトラップが生成されるかどうかに影響する相対ステップ制限を設定できます。2 つのオブジェクトの間のカラーラントの量の相対的な差異がステップ制限以下である場合、トラップは生成されません。

各カラーラントまたはすべてのカラーラントのステップ制限をセットできます。

個々のカラーラントの相対ステップ制限をセットするには

1. Trap Editor セッション内から、[**Trap Page(ページのトラップ)**]または[**Trap Selection (選択部分のトラップ)**] ダイアログの [**Detailed(詳細)**]表示を選択します。
2. [**Inks(インク)**] タブをクリックします。
3. カラーラント テーブルで、選択したカラーラントのステップ制限セルをダブルクリックします。
4. 該当するステップ制限を入力します。

すべてのカラーラントの相対ステップ制限をセットするには

1. [**Trap Page(ページのトラップ)**] または [**Trap Selection(選択部分のトラップ)**] ダイアログ ボックスの [**Detailed(詳細)**] 表示を選択します。
2. [**Inks(インク)**] タブをクリックします。
3. カラーラント テーブルのヘッダー行の [**Step Limit(%)(ステップ制限(%))**] ボタンをダブルクリックします。

   [Step Limit(ステップ制限)] ダイアログ ボックスが開きます。
4. すべてのインクに使用するためのステップ制限値を入力します。範囲は 1% から 100% です。

相対ステップの制限 (%)	結果
25% (デフォルト)	カラーラントの量の相対的な違いが 25% 以下の場合、隣接オブジェクトの間にトラッピングはありません。相対的な差異が 25% を超える場合、トラップが生成されます。
低い値	生成されるトラップの数が多いことを示します。
高い値	生成されるトラップの数が少ないことを示します。

5. [**OK**] をクリックして、[Step Limit(ステップ制限)] ダイアログ ボックスを閉じます。

[Step Limit(ステップ制限)] 列には、入力したばかりのステップ制限が表示されます。

絶対ステップ最低制限の設定

2 つのオブジェクトのカラーラントの量の絶対的な差異が絶対ステップ制限よりも少ない場合、下にトラップが隣接カラー (オブジェクト) の間で生成されていないしきい値として最小絶対ステップ制限を設定できます。この制限は、非常に明るいカラーまたは非常に小さいカラー ステップのカラーがブレンドで見つかったときに、それらの間でトラップしないようにするためのものです。

トラップを発生させるには、カラーラント (分版) の量の間の差異はこの**最小絶対ステップ制限**と**相対ステップ制限**の値セットよりも大きくなければなりません。相対ステップ制限の設定 も参照してください。

1. Trap Editor セッション内から、[**Trap Page(ページのトラップ)**]または[**Trap Selection (選択部分のトラップ)**] ダイアログの [**Detailed(詳細)**]表示を選択します。
2. [**Inks(インク)**] タブをクリックします。
3. 絶対ステップ制限を入力します。範囲は 1% から 100% です。

絶対ステップ制限	結果
5% (デフォルト)	2 つの隣接するカラー (オブジェクト) が 5 % 以下である場合、トラッピングは発生しません。
低いしきい値	生成されるトラップの数が多いことを示します。トラップは、ほかのトラップ決定パラメータの値セットに応じて、カラーラントの量の差異が少ない隣接カラーの間で生成されます。
高いしきい値	生成されるトラップの数が少ないことを示します。トラップは、ほかのトラップ決定パラメータの値セットに応じて、カラーラントの量の差異が大きい場合のみ隣接カラーの間で生成されます。
100% (最大)	生成されるトラップはありません。

固有のトラッピング パラメータのセットアップ

プロパティの編集とトラップの生成 の手順を基礎として、PDF ファイルのトラップを生成するために Trap Editor を使用するときに多くのトラップパラメータをリセットできます。

トラップ サイズの設定 92 ページ

中央線トラップ制限 92 ページ

トラップ ジオメトリの設定 93 ページ

黒インクのトラッピング 94 ページ

小さいテキストのトラッピング 96 ページ

イメージのトラッピング 98 ページ

インクの種類の設定 100 ページ

ニュートラル濃度の変更 101 ページ

トラップ カラーのスケーリング 102 ページ

インクをブラックとして取り扱うよう設定する 104 ページ

カラーラント順序の設定 105 ページ

細い線のトラップの設定 106 ページ

異なるトラッピング結果を得るために、トラッピング オプションを設定できます。

既存のトラップ オプションの削除 108 ページ

共通オブジェクト ボーダーのみオプション 109 ページ

トラップ サイズの設定

プレスで発生するあやまった登録を補償するために、トラップ サイズを調節できます。

備考 : ジョブの推奨トラップ サイズについては、プレス オペレーターに問い合わせてください。

1. Trap Editor セッション内から、[**Trap Page(ページのトラップ)**]または[**Trap Selection (選択部分のトラップ)**] ダイアログの [**Simplified(簡略)**]表示を選択します。
2. [*Simplified(*簡略*)*] の場合、[**Width(幅)**] と [**高さ(Height)**] ボックスのトラップ サイズを設定します。

   または

   [*Detailed(*詳細*)*] の場合、[**General(全般)**] タブをクリックし、[**Width(幅)**] および [**Height(高さ)**] ボックスでトラップ サイズを設定します。

   範囲は 0.03 から 15 ポイント (または 0.001 から 0.208 インチ、または 0.011 から 5.291 mm) です。

   高さにはトラップ幅を入力したときに同じ値が自動的に書き込まれます。フレキソ メディアを使用して印刷している場合で、あらかじめ歪んだページとトラップが必要な場合は、幅とは異なる高さが入力できます。

中央線トラップ制限

明るいカラーの暗いカラーへの通常のトラッピングの代わりに、中央線トラップを使用できます。中央線トラップは、ニュートラル濃度で同様に値をもつ 2 つのオブジェクトの中央に配置するトラップを指します。

中央線トラップ制限を使用して、中央線トラップがニュートラル濃度について同様の値をもつオブジェクト間で作成されるかどうかをコントロールできます。

注記: 黒または不透明インクの間に中央線トラップを追加することはできません。



1. Trap Editor セッション内から、[**Trap Page(ページのトラップ)**]または[**Trap Selection (選択部分のトラップ)**] ダイアログの [**Detailed(詳細)**]表示を選択します。
2. [**General(全般)**] タブをクリックします。
3. **中央線トラップ制限**の値を入力します。範囲は 0% から 100% です。

中央線制限	結果
100% (デフォルト)	隣接するオブジェクトがニュートラル濃度についてもまったく同じ値をもっていない限り、中央線はありません。
高い値	ニュートラル濃度について同様の値をもつカラーの間に中央線トラップを追加します。
低い値	ニュートラル濃度について異なる値をもつカラーの間に中央線トラップを追加します。
0%	ほぼすべてのトラップが中央線トラップされます。

トラップ ジオメトリの設定

Advanced Trap Editor で使用できる Properties Editor またはトラッピング ダイアログ ボックスの高度な機能を使用して、2 色または 3 色のトラップが交差するトラップ形状 (ジオメトリ) を調節できます。

パッケージのための高度なトラッピングの使用を参照してください。

黒インクのトラッピング

黒インクがトラッピングする方法を定義するためには、以下のパラメータを設定できます。

- 黒のスケーリング
- n% の制限を超えるインクの濃度について黒のトラッピング ルールを使用するトラップ
- すべての黒で塗りつぶされたオブジェクトをオーバープリント

ブラック幅スケーリングの設定

ブラック幅スケーリングは、黒のオブジェクトへのトラップのサイズを決めます。黒のオブジェクトを含むすべてのトラップは、セットした値によりスケールされます。

1. Trap Editor セッション内から、[**Trap Page(ページのトラップ)**]または[**Trap Selection (選択部分のトラップ)**] ダイアログの [**Detailed(詳細)**]表示を選択します。
2. [**ブラック(Black)**] タブをクリックします。
3. **ブラック幅スケーリング**の設定範囲は 1% から 1000% の間です。

ブラック幅スケーリング	結果
100% (デフォルト)	オブジェクトのカラー分版を、ブラックを除き、ページの残り部分で使用されているトラップ幅と同じ距離だけ引き戻します。ブラック オブジェクトへのトラップは、ほかのトラップと同じサイズになります。
低い値	幅の狭いトラップを作成します。たとえば、50% スケールはブラック オブジェクトのトラップが通常のトラップ幅よりも 50% 小さくなることを意味します。
高い値	幅の広いトラップを作成します。たとえば、200% スケールはブラック オブジェクトへのトラップが通常のトラップ幅の 2 倍になることを意味します。

ブラック カラー制限をトラッピング ルールの呼び出しまたは無視に設定する

ブラック トラッピング ルールには、以下のものが含まれます。

- ブラックとして定義されたオブジェクトへのトラップは、ブラック幅スケーリングにより影響されます。
- オーバープリントされたブラックで塗りつぶされたオブジェクトの下のカラーは、リッチなブラックを形成します。リッチなブラックが、サブストレートなどの塗りつぶされていないオブジェクトのボーダーを形成している領域では、ブラックの下のカラーがボーダーの背後に維持されます。
- 上記のルールは、ブラック オブジェクトの濃淡がブラック カラー制限と等しいか、それ以上でない限り、適用されません。

どのオブジェクトにブラック トラッピング ルールが適用されるかを判別するには、

1. Trap Editor セッション内から、[**Trap Page(ページのトラップ)**]または[**Trap Selection (選択部分のトラップ)**] ダイアログの [**Detailed(詳細)**]表示を選択します。
2. [**ブラック(Black)**] タブをクリックします。
3. n% を超えるインク密度のブラック トラッピング ルールを使用して、**トラップの値を入力します。**範囲は 1% から 100% の間です。

ブラックカラー制限	結果
95% (デフォルト)	ブラック トラッピング ルールは、ブラックの濃淡値が 95% 以上の場合に適応されます。
高い値 (100%)	100% のブラック オブジェクトのみが、ブラック トラッピング ルール で処理されます。
低い値	ブラック トラッピング ルールは、ブラックのオブジェクトの濃淡値が入力した値より大きい場合に適応されます。

注記: オブジェクトは [**Treat as Black(ブラックとして取り扱う)**] に設定できます。インクをブラックとして取り扱うよう設定するを参照してください。

すべてのブラックで塗りつぶされたオブジェクトをオーバープリント

ブラック インクのカラーは通常、下のカラーを隠すのに十分な暗さです。そのような場合、ブラック インクをオーバープリントして、精製するべきトラップの数を減らすことができます。

1. Trap Editor セッション内から、[**Trap Page(ページのトラップ)**]または[**Trap Selection (選択部分のトラップ)**] ダイアログの [**Detailed(詳細)**]表示を選択します。
2. [**ブラック(Black)**] タブをクリックします。
3. [**Overprint all black filled objects(すべてのブラックで塗りつぶされたオブジェクトをオーバープリント)**] または [**Overprint all black bitmaps(すべてのブラック ビットマップをオーバープリント)**] チェックボックス、またはその両方をチェックして、ブラックで塗りつぶされたオブジェクトおよび/または黒のビットマップをオーバープリントするように設定します。

   または

   [**Overprint all black filled objects(すべてのブラックで塗りつぶされたオブジェクトをオーバープリント)**] または [**Overprint all black bitmaps(すべてのブラック ビットマップをオーバープリント)**] チェックボックスをクリアして、ブラックで塗りつぶされたオブジェクトおよび/またはブラックのびっとまっぷを作成アプリケーションで設定されたステータスに戻します。

小さいテキストのトラッピング

小さなカラー テキストのトラップのサイズを調整するか、ブラック テキストをオーバープリントに設定して、テキストを読める状態に維持することができます。

1. Trap Editor セッション内から、[**Trap Page(ページのトラップ)**]または[**Trap Selection (選択部分のトラップ)**] ダイアログの [**Detailed(詳細)**]表示を選択します。
2. [**Small Text(小さいテキスト)**] タブをクリックします。
3. 小さなカラー テキストのデフォルトとは異なるトラップ幅にセットするために、[**Small Colored Text(小さなカラー テキスト)**] オプションを設定します。
   - **最大 n (ポイント) までカラー付きのテキストに対して n% 、トラップ幅をスケールします。**

     スケーリング トラップの範囲は、セッションのトラップ幅の 0 から 1000% です。デフォルトは 75% です。

     カラー テキストのポイント サイズの範囲は、0 から 100 ポイント(pt) です。デフォルトは 6 ポイントです。
   - **ほかのオブジェクト同様、大きなカラー テキストをトラップします。**すなわち、指定よりも大きなカラー テキストは、そのページの通常のトラップ幅を使用してトラップされます。
4. 小さなブラック テキストのデフォルトとは異なるトラッピング ルールをセットして、小さなテキストにインクが塗られるのを防ぐには、[**Small Black Text(小さなブラック テキスト)**] オプションを設定します。
   - **ブラック テキストを** n **(サイズ) までオーバープリント**

     最大 n (サイズ) までオーバープリントするブラック テキストの範囲は、0 から 1000 ポイントです。デフォルトは 12 ポイントです。

   - n ポイントを超えるブラック テキストは、テキスト オブジェクトとしてトラップされ、ブラック トラッピング ルールが適用されます。

イメージのトラッピング

イメージをトラッピングするとき、ソフトウェアは、トラップされたボーダーに沿ってイメージ ポイントのサンプルの平均を判別することにより、イメージのニュートラル濃度を計算します。ニュートラル濃度は、トラップ決定に影響するパラメータの 1 つです。トラップ決定に関する詳細は、生成されたトラップの数の変更 を参照してください。

注記: イメージ ボーダー カラーはボーダーに沿って測定され、イメージ カラー (オブジェクトとして) は、イメージ全体の平均となります。

特定のパラメータを有効または無効にすることにより、イメージがトラップされる方法を変更できます。

1. Trap Editor セッション内から、[**Trap Page(ページのトラップ)**]または[**Trap Selection(選択部分のトラップ)**] ダイアログの [**Detailed(詳細)**]表示を選択します。
2. [**イメージ**] タブをクリックします。
3. [**Trap between images and objects(イメージとオブジェクトの間をトラップ)**] をチェックすると、イメージとその他のオブジェクトの間のトラップを許可し、そのボックスをクリアすると、イメージとそのオブジェクトの間のトラッピングを禁じます。
4. [**Trap between images and objects(イメージとオブジェクトの間をトラップ)**] をチェックすると、イメージとその他のイメージの間のトラップを許可し、そのボックスをクリアすると、イメージとそのイメージの間のトラッピングを禁じます。
5. イメージをトラップすると、ドロップダウン リストから以下のいずれかを選択することにより、イメージの[**Trap Direction(トラップ方向)**] を指定できます。
   - **自動** ニュートラル濃度 (デフォルト) に基づいてトラップ方向を選択します。
   - [**Center(中央)**]イメージとオブジェクトの間で中央線トラップを作成します。
   - [**Into image(イメージへ)**]オブジェクトをイメージにトラップします（イメージのチョーク)。



- **[Into object(オブジェクトへ)]**: オブジェクトをイメージにトラップします (イメージのスプレッド)。

最後の 3 つの設定のいずれかを選択すると、隣接するオブジェクトのニュートラル濃度 (相対明度) を使用してソフトウェアにより、トラップ方向の自動割当がオーバーライドされます。

6. ファイル サイズを縮小するために、トラップ領域のイメージ データを低い解像度でリサンプルするように指定することができます。範囲は 10 から 1000 dpi です。

   出力時に、イメージのトラッピングされない領域は高解像度になり、トラップの中の領域は低解像度になります。

7. カラー ビットマップを含むページをトラップするために、Trapper はトラップとして使用するベクトルを作成するために、すべての白以外のピクセルのアウトラインをトレースしなければなりません。

   ドロップダウン リストから以下のいずれかを選択することにより、ビットマップを処理する方法を指定できます。

   - **Trap All(すべてをトラップ)** : ビットマップがいかに複雑であろうと、ベクトル トラップをもつすべてのカラー ビットマップをトラップします。この場合は、何時間も時間がかかることがあります。
   - **Ignore Complex(複雑なビットマップの無視)**(デフォルト): 複雑すぎるビットマップを除き、カラー ビットマップを変換し、トラップします。トラッピングに 30 秒以上かかることがよそうされ、高解像度のビットマップは、複雑なビットマップと見なされ、トラップされません。

- **Ignore All(すべてを無視)**: すべてのビットマップは複雑なビットマップと見なされ、トラップされません。

備考 : コピードット イメージは、トラッピングの際に無視されます。

インクの種類の設定

PDF ファイルのカラー インクの種類は、インクの印刷順序であるため、トラッピング決定の際の重要な情報です。

Trapper プラグインでは、以下のインクの種類を指定できます。Normal、Transparent、Opaque、および OpaqueIgnored です。Prinergy グローバルと per job カラー データベースで使用できる特別なインクの種類は、ダイラインです。ダイライン カラーは、透明カラーと同じであると見なされ、トラップされません。

インクの種類の詳細については、トラッピングのためのファイルの準備を参照してください。

1. Trap Editor セッション内から、[**Trap Page(ページのトラップ)**]または[**Trap Selection (選択部分のトラップ)**] ダイアログの [**Detailed(詳細)**]表示を選択します。
2. [**Inks(インク)**] タブをクリックします。
3. 代わりに、各カラーを選択し、[**Type(種類)**] コラム セルをクリックして、ドロップダウン リストを開きます。

   各カラーのインクの種類のリストからオプションを選択します。

   - Normal(標準) のインクは、半透明として取り扱われます。標準インクの間のトラップは、隣接カラーのニュートラル濃度に基づいて計算されます。
   - 透明カラーはトラッピングされませんが、透明カラーの下の非透明オブジェクトはトラッピングされます。



- 不透明カラーはスプレッドされません。その他のカラーは不透明カラーにトラップできません。不透明カラーによりカバーされるオブジェクトは、サブストレートなどペイントしていないオブジェクトのボーダーを描くときにチョークすることができます。トラップ方向は、印刷順序により決まります。
- OpaqueIgnored カラーはトラップされません。その他のカラーは、OpaqueIgnored カラーの端にトラップされます。OpaqueIgnored インクによりkバーされるオブジェクトはトラップされません。

ニュートラル濃度の変更

Trapper はカラーの CMYK コンポジションまたはスポットカラーの CMYK 同等値に基づいたカラーのニュートラル濃度の値を導きます。また、Prinergy カラー データベースおよびトラッピング プロセス プランの設定で、ニュートラル濃度を指定することもできます。隣接カラーのニュートラル濃度を比較するとき、Trapper はトラップ方向を決定します。

ニュートラル濃度を指定または変更して、トラップ決定とトラップ方向に影響することができます。これは一般的にスポット カラーにのみ行われます。しかｓ、CMYK の同等値は通常、便利なニュートラル濃度を取得するには適当ではありません。

1. Trap Editor セッション内から、[**Trap Page(ページのトラップ)**]または[**Trap Selection (選択部分のトラップ)**] ダイアログの [**Detailed(詳細)**]表示を選択します。
2. [**Inks(インク)**] タブをクリックします。
3. 代わりに、各カラーを選択し、[**ニュートラル濃度**] コラム セルをダブルクリックして、現在の値をクリアします。セルに該当する値を入力します。範囲は 0% から 1000% の間です。

SWOP インク セットの一般的な値は、以下のとおりです。

- シアン: 0.610
- マゼンタ: 0.760
- イエロー : 0.160
- ブラック: 1.700

トラップ カラーのスケーリング

隣接オブジェクトのカラーは互いに加えられ、相互トラップ カラーが作成されます。これにより、暗すぎて、目に見えるトラップ カラーが作成されます。カラーラントをリセットして、トラップ カラーを明るくすることができます。パステル カラーはトラップ カラー スケーリングの恩恵を最も大きく受けます。スケーリングが使用されない場合、対象のオブジェクトよりもトラップが顕著に暗くなるからです。

特別なトラップ カラーに使用する実施あのカラーラントの中で、明るい隣接するカラーがスケールされます。すなわち、隣接する暗いオブジェクトと明るいオブジェクトのカラー分版が差し引かれ、差異がカラー スケールの割合だけ減じられ、結果は小さい値の分版に追加されます。

1. Trap Editor セッション内から、[**Trap Page(ページのトラップ)**]または[**Trap Selection (選択部分のトラップ)**] ダイアログの [**Detailed(詳細)**]表示を選択します。
2. [**Inks(インク)**] タブをクリックします。
3. 以下のいずれかを行います。
   - すべてのインクに使用するスケーリング値を入力するには、カラーラント テーブルのヘッダー行の[**Color Scaling(%)(カラー スケーリング(%))**]ボタンをダブルクリッ

クします。[Color Scaling(カラー スケーリング)] ダイアログ ボックスが開きます。

すべてのインクに使用するためのスケーリング値を入力します。範囲は 0% から 100% です。

[**OK**] をクリックします。

または

- 複数のカラーラントに異なる値を入力するためには (通常はスポット カラーのみ)、各カラーラントを選択し、その [**Color Scaling(カラー スケーリング)**] セルをダブルクリックして、各値をクリアします。

  セルに該当する値を入力します。範囲は 0% から 100% の間です。

  [**OK**] をクリックします。

  または

- すべてのインクのスケーリング値を入力し、1 つか 2 つのカラーラントを別の値に変更します。



図 21: トラップ カラー スケーリング

インクをブラックとして取り扱うよう設定する

カラーラント (通常はスポット カラーのみ) をブラック カラーとしてトラップするように指定できます。インクの種類について、以下のルールに留意してください。

- 標準インクは、[Treat as Black(ブラックとして取り扱う)] にセットされている場合に、ブラックとしてトラップすることができます。
- 不透明インクとしての不透明インクへの他のカラー トラップは、常に、ブラックとして取り扱われます。
- スクリーン インクは、[Treat as Black(ブラックとして取り扱う)] にセットされ、濃淡がブラック カラー制限よりも大きい場合にのみブラックとして取り扱われます。
- Transparent または OpaqueIgnored インクは、ブラックとして取り扱われることはありません。

1. [**Trap Page(ページのトラップ)**] または [**Trap Selection(選択部分のトラップ)**] ダイアログ ボックスの [**Detailed(詳細)**] 表示を選択します。
2. [**Inks(インク)**] タブをクリックします。
3. カラーラントを選択し、[**Treat as Black(ブラックとして取り扱う)**] チェックボックスをチェックして、ボーダーから下のカラーを離しておきます。チェック ボックスをクリアして、カラーラントの [Treat as Black(ブラックとして取り扱う)] ステータスを削除します。

   ブラック カラー制限とブラック トラッピング ルールに関する詳細は、黒インクのトラッピング を参照してください。

備考： [Treat as Black(ブラックとして取り扱う)] を使用して、2 つのスポット カラーを、1 つは最初のヒット、もう 1 つは 2 番目のヒットとして使用し、スポット カラーをダブル ヒットします。オーバープリントの 2 番目のヒットを [Treat as Black(ブラックとして取り扱う)] にセットして、チョーク トラップが最初のヒット、通常は濃淡に適用され、ボーダーから離しておくようにします。

同様に、リッチなブラックのオブジェクトを [Treat as Black(ブラックとして取り扱う)] にセットして、チョーク トラップがブースター カラーに適用されるようにします。

カラーラント順序の設定

カラーラント印刷順序は、特に不透明カラーのトラップ決定に影響します。すなわち、不透明インクのトラップ順序は、印刷順序によってのみ決定され、ニュートラル濃度では決定されないということです。カラーラントのリストの順序を設定および/または変更できます。

1. Trap Editor セッション内から、[**Trap Page(ページのトラップ)**]または[**Trap Selection (選択部分のトラップ)**] ダイアログの [**Detailed(詳細)**]表示を選択します。
2. [**Inks(インク)**] タブをクリックします。
3. テーブルにリストされたカラーラントを選択します。[**カラーラント順序**] の上または下矢印をクリックして、カラーラントをリストの中で上下に移動します。
4. 各カラーラントについて希望に応じてステップ 3 を繰り返します。

備考： 多くの不透明カラーをもつファイルの場合、[Prinergy Color Mapping(Prinergy カラー マッピング)] ダイアログ ボックスからの印刷順序を設定し、トラップの方向を判別します。最後に印刷されたカラーは形状を決め、ほかのすべてのカラーはその下に入れられます。たとえば、Color 1 は Color 2 にトラップし、Color 2 は 3 に、3 は 4 にトラップします。

細い線のトラップの設定

ストローク ラインと別のオブジェクトの間のトラッピングに対してトラッピング ルールを変更できます。これを実行するには、以下の 2 つの方法があります。

- ストロークと別のオブジェクトの間の内部トラップのサイズを減らします。
- ブラック ストロークをオーバープリントにセット。

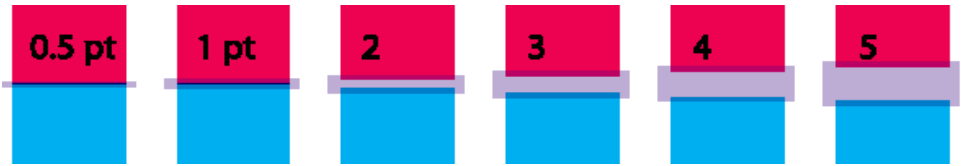
1. Trap Editor セッション内から、[**Trap Page(ページのトラップ)**]または[**Trap Selection (選択部分のトラップ)**] ダイアログの [**Detailed(詳細)**]表示を選択します。
2. [**Thin Lines(細い線)**] タブをクリックします。
3. ストロークにトラップされるオブジェクトがストロークをオーバーシュートするか、間違った見当を表示しないよにするためには、グローバル トラップ幅がストローク幅の半分の内部トラップを取得する**最大 n 倍の幅を持つストロークを設定することにより、トラップをトリムします。**nの範囲は 2 から 100 の間です。

   実際に、このオプションは、トラップが中央線を越えて広がらないようにします。説明については図 22を参照してください。

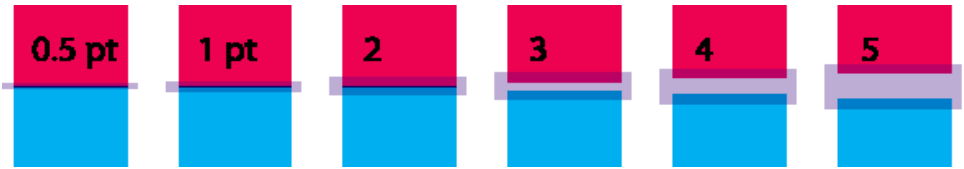
4. **最大 n (サイズ) の幅のブラック ストロークは、オーバープリントに設定されます。**n の範囲は 1 から 100 ポイントの間です。

使用される Thin Lines(細い線) パラメータ:
グローバル トラップ幅の最大 2 倍の幅のストロークは、ストロークは倍の半分の内部トラップを取得します。

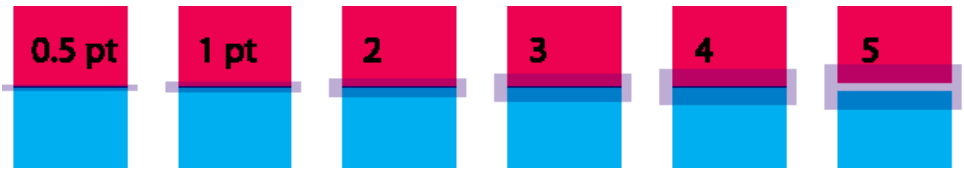
トラップ サイズ: 0.5 pt:



トラップ サイズ: 1 pt:



トラップ サイズ: 2 pt:



(ストローク カラーはトラップをより見やすくするために、ダイヤルバックされます。)

図 22: 別のトラップ サイズによる細い線のトラッピング

既存のトラップ オプションの削除

[Delete existing traps(既存のトラップの削除)] チェックボックス オプションは、[Trap Page(ページをトラップ)] ダイアログ ボックスで選択可能で、そのコンパートメント **[Delete traps in selection(選択部分のトラップの削除)]** は [Trap Selection(選択部分のトラップ)] ダイアログ ボックスで選択可能です。

既存のトラップの削除	選択部分のトラップの削除	結果
チェック済み	チェック済み、オブジェクト選択済み	すべての前のトラップを削除するので、新しく生成されたトラップはそれを置換できます。
クリア	クリア、オブジェクト選択済み	これはその場所に前のトラップを残すため、新しいトラップが既存のトラップを置き換えずに追加されます。

注記: インクの種類を変更し、**[Delete existing traps(既存のトラップの削除)]** または **[Delete traps in selection(選択部分のトラップを削除)]** を選択せずに、再トラップを試みた場合、インクの種類を変更したことと、既存のトラップが有効ではないことを警告するメッセージが表示されます。すべての既存のトラップを削除するか、既存のトラップを削除せずに続行します。

このオプションの詳細については、プロパティの編集とトラップの生成を参照してください。

共通オブジェクト ボーダーのみオプション

[**共通オブジェクト ボーダーのみ**] チェックボックス オプションは、[Trap Selection(選択部分をトラップ)] ダイアログ ボックスのみで選択可能です。

共通オブジェクト ボーダーのみ	結果
チェック済み、オブジェクト選択済み	選択されたオブジェクトにより共有される境界のみをトラップします。
クリア、オブジェクト選択済み	すべての選択されたオブジェクトのボーダーをトラップします

注記: [**共通オブジェクト ボーダーのみ**] トラッピング オプションは、以下の場合には適用されません。

- 1 つの選択されたオブジェクトをトラッピングするとき
- 選択された 1 つまたは複数のトラップを再生成するとき
- 選択されたボーダーに新しいトラップを生成するとき

このオプションの詳細については、プロパティの編集とトラップの生成を参照してください。

トラップ設定のワークフローの最適化

トラップ設定は、トラップ サイズ、トラップ ジオメトリ、ブラック インク ルール、およびカラーラント印刷順序などのトラッピング パラメータの集合です。選択部分またはPDFページ全体にトラップを生成するために使用、および再使用できるトラップ セットの優先されるトラッピング パラメータを保存できます。

多くの方法で、トラップ設定を作成、変更、および適用できます。

Prinergy ファイルからのトラップ設定の作成 111 ページ

Trapper 編集ファイルからのトラップ設定の作成 112 ページ

保存したトラップ ページのロード 114 ページ

トラップ設定の変更 116 ページ

プロセス プランのトラップ設定の再ロード 118 ページ

デフォルト トラップ設定の入力と使用 119 ページ

Prinergy ファイルからのトラップ設定の作成

共通のワークフローには、Prinergy の調整およびトラッピング、その後のトラップのチェックまたは調整のための PDF ファイルの送付が含まれます。Trapping JTP のためにトラッピング設定をキャプチャし、Trapper プラグインでそれらを使用可能にすることができます。

1. Prinergy で調整およびトラッピングされたファイルを開きます。
2. Trap Editor セッションの中から、[**Trap page(ページをトラップ)**] をクリックするか、アイテムを選択し、[**Trap the selection(選択部分をトラップ)**] をクリックします。トラッピング ダイアログ ボックスが開きます。

   新しく処理されたファイルの場合、トラッピング ダイアログボックスの [Trap Set (トラップ設定)] ステータスには、[**From process plan(プロセス プランから)**]が表示され、Trapper にトラップされた PDF ファイルのトラッピング パラメータのセットが示され、これらがトラッピング ダイアログ ボックスに表示されます。
3. [**Save(保存)**] をクリックします。[Save Trap Set(トラップ設定の保存)] ダイアログ ボックスが開きます。

   または

   トラッピング ダイアログ ボックスのトラッピング パラメータに多くの変更を行ってください。トラップ設定のステータスは、[**Modified/unsaved(修正済み/未保存)**] と示します。

   [**Save(保存)**] をクリックします。[Save Trap Set(トラップ設定の保存)] ダイアログ ボックスが開きます。
4. トラップ設定ファイルに対して 18 文字以内のファイル名を指定します。トラップ セット ファイル名を参照してください。

5. デフォルト設定の Trapper プラグインの [**TrapParams**] フォルダ、またはネットワーク上で参照できるフォルダにトラップ設定ファイルを保存します。
6. [**Save(保存)**] をクリックして、[Save Trap Set(トラップ設定の保存)] ダイアログ ボックスを閉じます。
7. (オプション) トラッピング オプションをチェックし、新しいトラップ設定を PDF に適用します。

このファイルを次に開き、[**Trap page(ページのトラップ)**] または [**Trap the selection(選択部分のトラップ)**] をクリックすると、Trapper プラグインによりファイルがトラップされているため、トラップ設定ステータスは [From PDF ファイル] を示します。最後に適用された変更のトラッピング パラメータは、トラッピング ダイアログ ボックスに表示されます。

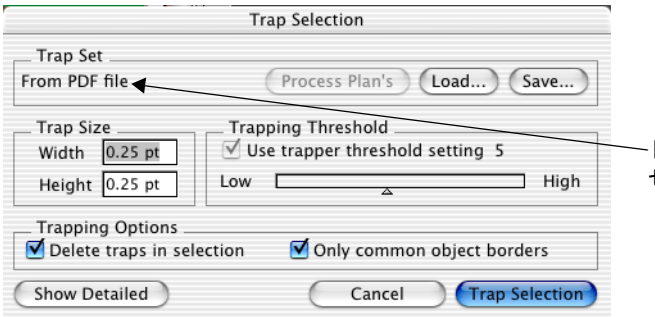


図 23: トラッピング ダイアログのトラップ設定ステータス

Trapper 編集ファイルからのトラップ設定の作成

現在、開いている Trapper プラグイン編集 PDF ファイルの設定に基づいてトラップ設定を作成できます。この方法で、将来の使用のために現在のトラッピング ソリューションをキャプチャします。

1. Prinergy で調整し、トラップしたファイルを開き、Creo PDF Trapper で編集します。
2. Trap Editor セッションの中から、[**Trap page(ページをトラップ)**] をクリックするか、アイテムを選択し、[**Trap the selection(選択部分をトラップ)**] をクリックします。トラッピング ダイアログ ボックスが開きます。

   トラッピング ダイアログ ボックスのトラップ設定ステータスは、[**From PDF file(PDF ファイルから)**]、すなわち、Trapper はトラップされプラグインで編集された PDF ファイルからトラッピング パラメータのセットを読み取り、これらが、[Trap Page(ページをトラップ)] または [Trap Selection(選択部分をトラップ)] ダイアログ ボックスで表示されるパラメータとなります。
3. [**Save(保存)**] をクリックします。[Save Trap Set(トラップ設定の保存)] ダイアログ ボックスが開きます。

   または

   トラッピング ダイアログ ボックスのトラッピング パラメータに多くの変更を行ってください。トラップ設定のステータスは、[**Modified/unsaved(修正済み/未保存)**] と示します。

   [**Save(保存)**] をクリックします。[Save Trap Set(トラップ設定の保存)] ダイアログ ボックスが開きます。

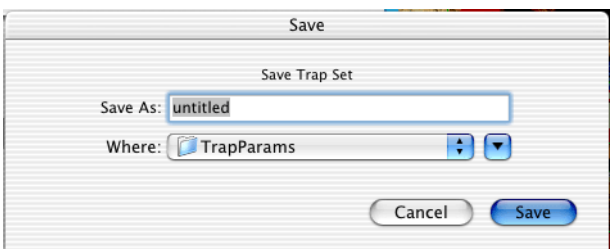


図 24: トラップ設定の保存

4. トラップ設定ファイルに対して 18 文字以内のファイル名を指定します。トラップ セット ファイル名を参照してください。
5. デフォルト設定の Trapper プラグインの [**TrapParams**] フォルダ、またはネットワーク上で参照できるフォルダにトラップ設定ファイルを保存しあmす。
6. [**Save(保存)**] をクリックして、[Save Trap Set(トラップ設定の保存)] ダイアログ ボックスを閉じます。
7. (オプション) トラッピング オプションをチェックし、新しいトラップ設定を PDF に適用します。

このファイルを次に開き、[**Trap page(ページのトラップ)**] または [**Trap the selection(選択部分のトラップ)**] をクリックすると、トラップ設定ステータスは [**From PDF ファイル**] を示します。最後に適用された変更のトラッピング パラメータは、トラッピング ダイアログ ボックスに表示されます。

保存したトラップ ページのロード

PDF ファイルでトラップを変更または再生成するために、保存済みのトラップ設定を使用できます。

1. Prinergy で調整およびトラップされたファイル、または Prinergy で調整またはトラップされ、その後 Creo PDF Trapper で編集されたファイルを開きます。
2. Trap Editor セッションの中から、[**Trap page(ページをトラップ)**] をクリックするか、アイテムを選択し、[**Trap the selection(選択部分をトラップ)**] をクリックします。トラッピング ダイアログ ボックスが開きます。

   Prinergy からの新しいファイルの場合、トラップ設定ステータスには [**From process plan(プロセス プランから)**]、プラグイン編集ファイルの場合、トラップ設定ステータスには [**From PDF file(PDF ファイルから)**] が表示されます。
3. [**Load(ロード)**]をクリックします。

[Load Trap Set(トラップ設定のロード)] ダイアログ ボックスが開きます。

4. デフォルトの [**TrapParams**] フォルダ、または最後にアクセスした固有のフォルダの既存のトラップ設定を選択します。図 25を参照してください。

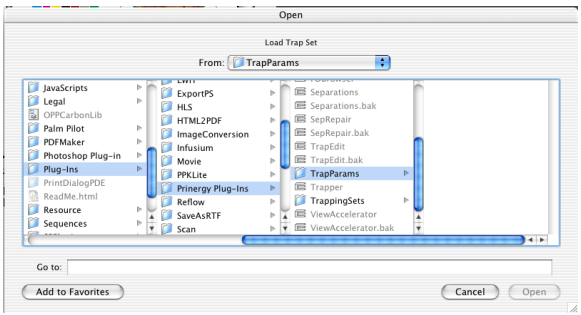


図 25: デフォルト フォルダからの保存されているトラップ設定のロード

5. [**Open(開く)**] をクリックして、トラッピングダイアログ ボックスに戻ります。トラップ設定ステータスは、**Trap Set** 「ファイル名」と示します。

6. トラッピング オプションをチェックし、新しいトラップ設定を PDF に適用します。

このファイルを次に開き、[**Trap page(ページのトラップ)**] または [**Trap the selection(選択部分のトラップ)**] をクリックすると、トラップ設定ステータスは [**From PDF ファイル**] を示します。最後に適用された変更のトラッピング パラメータは、トラッピング ダイアログ ボックスに表示されます。

備考： 異なるトラップ設定を PDF ページで選択されている異なるオブジェクト、トラップ、およびボーダーに適用できます。

トラップ設定の変更

トラップ設定ファイルを直接、編集できませんが、トラッピング パラメータを変更し、その変更を既存のトラップ設定ファイルに保存することはできます。

1. Prinergy で調整およびトラップされたファイル、または Prinergy で調整またはトラップされ、その後 Creo PDF Trapper で編集されたファイルを開きます。
2. Trap Editor セッションの中から、[**Trap page(ページをトラップ)**] をクリックするか、アイテムを選択し、[**Trap the selection(選択部分をトラップ)**] をクリックします。トラッピング ダイアログ ボックスが開きます。

   Prinergy からの新しいファイルの場合、トラップ設定ステータスには [**From process plan(プロセス プランから)**]、プラグイン編集ファイルの場合、トラップ設定ステータスには [**From PDF file(PDF ファイルから)**] が表示されます。
3. [**Load(ロード)**]をクリックします。[Load Trap Set(トラップ設定のロード)] ダイアログ ボックスが開きます。
4. [**TrapParams**] フォルダ、または最後にアクセスした固有のフォルダの既存のトラップ設定を選択します。
5. [**Open(開く)**] をクリックして、トラッピングダイアログ ボックスに戻ります。トラップ設定ステータスは、**Trap Set** ëファイル名íと示します。
6. トラッピング ダイアログ ボックスのトラッピング パラメータを変更します。トラップ設定のステータスは、[**Modified/unsaved(修正済み/未保存)**] と示します。
7. [**Save(保存)**] をクリックします。
8. 保存するために、同じトラップ設定名とフォルダを選択します。
9. [**Save(保存)**] をクリックして、[Save Trap Set(トラップ設定の保存)] ダイアログ ボックスを閉じます。

10. (オプション) トラッピング オプションをチェックし、新しいトラップ設定を PDF に適用します。

このファイルを次に開き、[**Trap page(ページのトラップ)**] または [**Trap the selection(選択部分のトラップ)**] をクリックすると、トラップ設定ステータスは [**From PDF ファイル**] を示します。最後に適用された変更のトラッピング パラメータは、トラッピング ダイアログ ボックスに表示されます。

プロセス プランのトラップ設定の再ロード

Prinergy プロセス プランで使用される元のトラッピング パラメータを使用して、PDF ファイルのトラッピング パラメータをリセットします。

1. Prinergy で調整およびトラップされたファイル、または Prinergy で調整またはトラップされ、その後 Creo PDF Trapper で編集されたファイルを開きます。
2. Trap Editor セッションの中から、[**Trap page(ページをトラップ)**] をクリックするか、アイテムを選択し、[**Trap the selection(選択部分をトラップ)**] をクリックします。

   トラッピング ダイアログ ボックスが開きます。

   Prinergy からの新しいファイルの場合、トラップ設定ステータスには [**From process plan(プロセス プランから)**]、プラグイン編集ファイルの場合、トラップ設定ステータスには [**From PDF file(PDF ファイルから)**] が表示されます。
3. トラッピング ダイアログ ボックスのトラッピング パラメータに多くの変更を行ってください。
4. [**Trap page(ページのトラップ)**] または [**Trap selection(選択部分のトラップ)**] をクリックします。
5. この時点で、行った変更を取り消したくなったとします。[**Trap page(ページのトラップ)**] をクリックするか、アイテムを選択し [**Trap selection(選択部分のトラップ)**] をクリックしますトラッピング ダイアログ ボックスが開きます。

   トラップ設定ステータスに [**From PDF file(PDF ファイルから)**] と示されます。
6. **プロセス プラン**のボタンをクリックします。[Trap page(ページのトラップ)] または [Trap selection(選択部分のトラップ)] ダイアログ ボックスに、プロセス プランからのトラッピング パラメータの値が示されます。
7. トラッピング オプションをチェックし、新しいトラップ設定を PDF に適用します。

次に [**Trap page(ページのトラップ)**] または [**Trap the selection(選択部分のトラップ)**] をクリックすると、トラップ設定ステータスは [**From PDF ファイル**] を示します。最後に適用された変更のトラッピング パラメータは、トラッピング ダイアログ ボックスに表示されます。

デフォルト トラップ設定の入力と使用

デフォルト トラップ設定を作成し、それを Trapper プラグインで使用可能にします。トラップされていない *PDF* ファイルを開き、トラッピング ダイアログ ボックスを開くと、プラグインはデフォルトのトラップ設定のトラッピング パラメータを自動的トラッピング ダイアログ ボックスにロードします。

1. トラップ設定に優先トラップ設定を作成し、保存します。Prinergy ファイルからのトラップ設定の作成またはTrapper 編集ファイルからのトラップ設定の作成を参照してください。
2. Acrobat メイン メニューで、[**編集**] > [**環境設定**] > [**Creo PDF Trapper**] を選択します。Macintosh OS X の場合、メイン ツールバーの [**Acrobat**] アプリケーション メニューを使用します。[**Acrobat**] > [**環境設定**] > [**Creo PDF Trapper**]。

   Trapper の [Preference s (環境設定)] ダイアログ ボックスが表示されます。

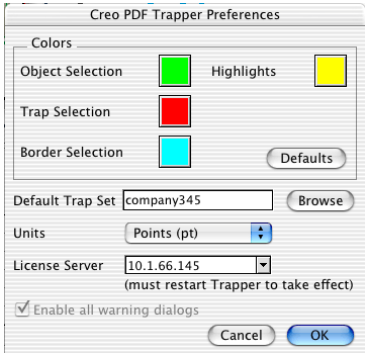


図 26: デフォルトのトラップ設定の指定

3. [Default Trap Set(デフォルト トラップ設定)] ボックスで、保存されたトラップ設定の完全パス名を入力するか、保存されたトラップ設定にアクセスし選択するために [**Browse(参照)**] を使用します。
4. [**OK**] をクリックして、Trapper の [Preference(環境設定)] ダイアログ ボックスを閉じます。
5. Prinergy で調整およびカラー マッチングされたが、トラッピングされていないファイルを開きます。
6. Trap Editor セッションの中から、[**Trap page(ページをトラップ)**] をクリックするか、アイテムを選択し、[**Trap the selection(選択部分をトラップ)**] をクリックします。トラッピング ダイアログ ボックスが開きます。トラップ設定ステータスには、[**Default (デフォルト)**] が表示されます。
7. トラッピング オプションをチェックし、新しいトラップ設定を PDF に適用します。
   トラッピング パラメータは、ページまたは選択部分に適用されます。

トラップ設定ステータスに [**From PDF file(PDF ファイルから)**] と示されます。

パッケージのための高度なトラッピングの使用

ライセンスされたAdvanced Trap Editor は、パッケージ プリンタのために追加トラッピングを提供します。

トラップ ジオメトリの設定122 ページ

トラップ ジオメトリの編集125 ページ

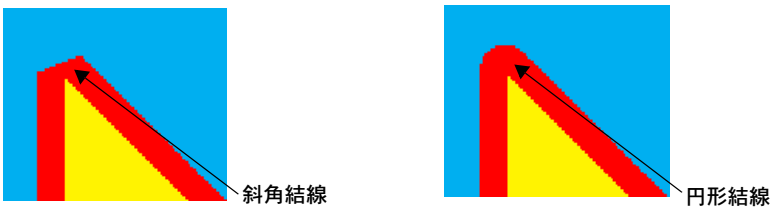
Keepaway トラップの設定126 ページ

トラップ パスの編集128 ページ

トラップ ジオメトリの設定

詳細なトラッピング ダイアログ ボックスで [**Geometory(ジオメトリ)**] パラメータを使用して、Advanced Trap Editor に対してライセンスされた場合、トラップ形状 (ジオメトリ) を変更できます。

1. Advanced Trap Editor セッション内から、[**Trap Page(ページのトラップ)**]または[**Trap Selection(選択部分のトラップ)**] ダイアログの [**Detailed(詳細)**]表示を選択します。
2. [**Geometry(ジオメトリ)**] タブをクリックします。
3. [**Line Join Style(結線スタイル)**] のドロップダウン ボックスをクリックし、[**Bevel(斜角)**] (デフォルト)、[**Miter(マイター)**]、または [**Round(円形)**] から選択して、2 つのトラップ セグメントの間のコーナーの形状を設定します。



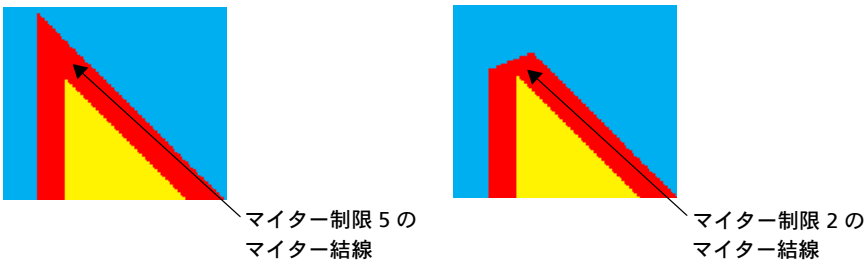
(トラップは赤でハイライトされ、見やすくなります。)

図 27: 斜角と円形結線

4. 必要に応じて、**[Miter Limit(マイター制限)]**を設定します。範囲は 1 から 15 です。

   マイター制限は、結線の角度に従って、マイター トラップを斜角に短縮します。たとえば、結線の角度が鋭角であるほど、マイター トラップの斜角が鋭くなります。

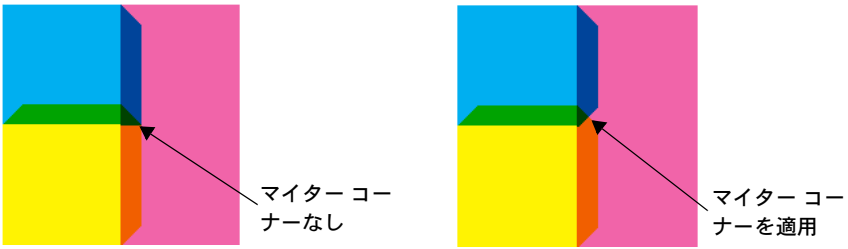
マイター制限	結果
5 (デフォルト)	鋭角のマイター トラップは、トラップのマイター ポイントがトラップ幅の 5 倍よりも大きい場合に、勾配が付けられます。
低い値	鋭角が弱い場合のマイター トラップは勾配がとられるか、短縮されます。
高い値	非常に強い鋭角のマイター トラップは勾配が付けられるだけです。



(トラップは赤でハイライトされ、見やすくなります。)

図 28: 異なるマイター制限のマイター結線

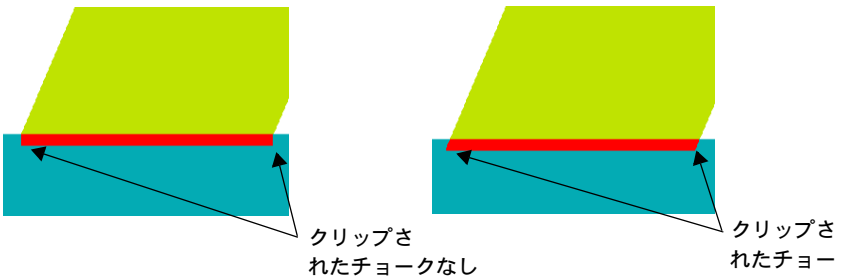
5. [**Mitered Corners(マイター コーナー)**] をチェックして、最低 3 色が交差する場所にあるトラップのコーナーをマイターします]。これは、交差に溜まるインクを減らします。



(マジェンタ分版はトラップをより見やすくするために、ダイヤルバックされます。)

図 29: マイター コーナー

6. [**Clipped Chokes(クリップされたチョーク)**] をチェックして、最低 3 色が交差する場所にあるチョーク トラップの端に角度をつけます。トラップのラインは、オブジェクトのラインにつなげられます。誤った見当の場合、角度付きの輪郭線は見つかりにくくなります。



(トラップは赤でハイライトされ、見やすくなります。)

図 30: クリップされたチョーク

トラップ ジオメトリの編集

Advanced Trap Editor のProperties Editor in the を使用して、2 色および 3 色トラップが交差するトラップ形状 (ジオメトリ) を調節できます。

トラッピング ダイアログの使用については、トラップ ジオメトリの設定 も参照してください。

1. Advanced Trap Editor セッションの中から、形状を変更するトラップを選択します。
2. [Properties Editor] ダイアログ ボックスで、左ペインのトラップのアイコンを選択します。
3. [Line Join Style(結線スタイル)] について、[**Bevel(斜角)**] (デフォルト)、[**Miter(マイター)**]、または [**Round(円形)**] から選択します。
4. [**Miter Limit(マイター制限)**] を選択します。マイター制限は、結線の角度に従って、マイター トラップを斜角に短縮します。たとえば、結線の角度が鋭角であるほど、マイター トラップの斜角が鋭くなります。範囲は 1 から 100 です。詳細については、トラップ ジオメトリの設定 のマイター制限テーブルを参照してください。
5. [**Mitered Corners(マイター コーナー)**] をチェックして、最低 3 色が交差する場所にあるトラップのコーナーをマイターします。これは、3 色の交差に溜まるインクを減らします。
6. [**Clipped Chokes(クリップされたチョーク)**] をチェックして、最低 3 色が交差する場所にあるチョーク トラップの端に角度をつけます。誤った見当の場合、角度付きの輪郭線は見つかりにくくなります。
7. [**Apply(適用)**] をクリックします。

Keepaway トラップの設定

Advanced Trap Editor の [**Keep away all objects(すべてのオブジェクトを Keepaway)**] ボタンを使用して、Keepaway トラップ (逆トラップと呼ばれる) をページのすべてのオブジェクトに適用します。

1. Advanced Trap Editor セッションの中から、Trap Editor ツールバーの [**Keep away all objects(すべてのオブジェクトを Keepaway)**] ボタン  をクリックします。

   [Keepaway] ダイアログ ボックスが開きます。

2. [**Width(トラップ幅)**] と [**Height(高さ)**] のパラメータを指定します。
3. 必要な場合、[**Line Join Style(結線スタイル)**] および [**Miter Limit(マイター制限)**] を指定します。
4. [**Keep away all objects(すべてのオブジェクトを Keep away)**] をクリックします。

ページのすべてのトラックが削除され、ノックアウト トラップが別のインクでペイントされた隣接オブジェクトの間に追加されます。つまり、各オブジェクトは、他方をペイントしていない少なくとも 1 つのインクによってペイントされます。

図 31ルールを示す: バックグラウンドはシアン、マジェンタとイエローの混合で、文字は純粋なシアン、マジェンタ、イエローおよびブラックです。したがって、文字の間、ブラックとバックグラウンドの間に keepaway トラップがありますが、シアン、マジェンタ、またはイエローとバックグラウンドの間にはありません。ノックアウト トラップは、サブストレートを透かして表示します。



図 31: Keepaway トラップ

トラップ パスの編集

トラップの形状は、Advanced Trap Editor が装備するトラップ パス編集ツールを使用して手動で変更できます。

1. Advanced Trap Editor セッション内から、トラップを選択します。

   縦のツールバーの [Edit Trap Path(トラップ パスの編集)] ボタンが有効になります。

2. 必要に応じて、Trapper ウィンドウの倍率を増大します。
3. Trap Editor の横軸のツールバーの [**Edit trap path(トラップ パスの編集)**] ボタンをクリックします。

   カーソルはペン ツールになります。

4. ペン ツールを使用して、追加または削除する形状をアウトライン化するトラップ領域で少なくとも 3 つの制御点を作成します。

   - マージまたは削除する前に、形状を調整するために、描画制御点 をクリックし、ドラッグすることができます。
   - 始点をもう一度クリックして形状を完成させない場合、ツールが自動的に形状を閉じます。
   - 作成した最初の点をクリックして形状を閉じる場合は、該当する場所をクリックしてパスの任意の場所に新しい制御点を挿入できます。
   - アクティブな制御点を削除するには、バックスペース キーをクリックします。パス全体を削除するには、DELETE キーをクリックします。別の選択ツールをクリックするか、ページをトラッピングするか、トラップを削除すると、描画されるトラップ パス形状を失う結果になります。

   Trap Editor アクション ツールバー (横軸ツールバー) の [Merge path(パスのマージ)] および [Delete path(パスの削除)] ボタンは有効になります。

5. 以下のいずれかを行います。

   - トラップ形状に追加するには、Trap Editor アクション ツールバー (横軸) の [**Merge path(パスをマージ)**] アイコン をクリックします。

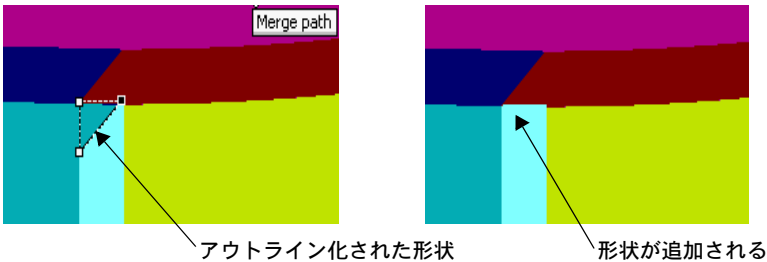


図 32: パスへの追加をマージするためのトラップ パス ツールの使用

   - パス形状から削除するには、Trap Editor アクション ツールバー (横軸) の [**Delete path(パスを削除)**] アイコン をクリックします。

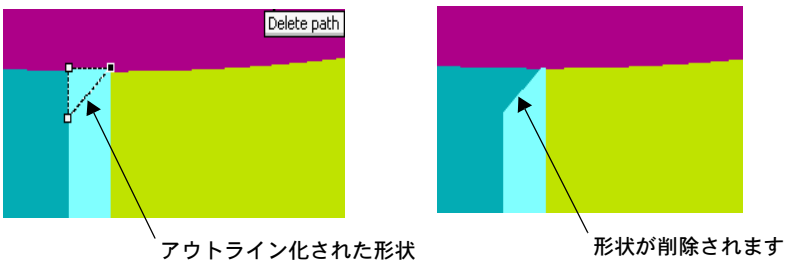


図 33: パスの一部を削除するためのトラップ パス ツールの使用

Merge path(パスのマージ) または Delete path(パスの削除) の後で、Properties Editor は、トラップ パス ペン ツールの図の上に重ねられた編集済みのトラップのスワッチ  を表示します。

6. 元のトラップ形状をリストアするためには、トラップ パス ペン ツールを表示するトラップ スワッチ ボタンをクリックします。

   スワッチ ボタンからペン アイコンが消去され、トラップの形状は元の形状に戻されます。

索引

記号

(ハッシュ)、使用 59, 60, 82
~ (チルド)、使用~ 59, 60
-(ハイフン)、使用 81, 82

A

Advanced Trap Editor
- Keepaway トラップの設定 126
- トラップ ジオメトリの設定 122
- トラップ ジオメトリの編集 125
- トラップ パスの編集 128

B

Black Color Limit 95

C

C、M、Y、K インクの値 102

K

Keepaway トラップ 126

P

Properties Editor
- オープン 56
- トラップ ジオメトリの編集 125

Properties Viewer
- オープン 45

S

Separations Viewer
- [Redo(やり直し)] 、[Undo(取り消し)] ボタン 72
- オープン 51
- カラー分版のチェック 51
- スウォッチのみの表示の取得 51

T

Trap Editor
- Trapper の終了 23
- アクション ツールバー 22
- ウィンドウ 20
- オープン 19
- 使用可能 21, 30
- トラッピング ダイアログ 64
- トラップしたページの検査 44

Trap Viewer
- Editor への切り替え 23
- Trapper の終了 23
- ウィンドウ 17
- オープン 16
- ツールバー 18
- トラップしたページの検査 44

Trap Viewer と Editor の間の切り替え 23

Trapper
- JTP 7
- Trap Editor 6
- Trap Viewer 6
- 環境設定の設定 15

Trapper ウィンドウを並べて表示する 23
Trapper の [About(Trapper について)] ダイアログ 7
Trapper のアップデート 6
Trapper のインストールとアップデート 6
Trapper の終了 23

U

[Undo (元に戻す)] ボタン 72

い

イメージ
トラッピング 98
ビットマップのトラッピング 99
インクの値
C、M、Y、K 102
インクの種類
OpaqueIgnored: 11, 101
設定 100
ダイライン 11, 100
透明 11, 100
トラッピング規則 13
標準 11, 100
不透明 11, 101
インク、ブラックとして取り扱う 104

お

オーバーラップ。スプレッドを参照
オープン
[環境設定] ダイアログ 27
Properties Editor 56
Properties Viewer 45
Separations Viewer 51
Trap Editor 19
Trap Viewer 16
トラッピング ダイアログ 64
オブジェクト
オーバープリントのハイライト 52
オーバープリントまたはノッキング アウト 57
選択 34
選択可能なタイプ 35
透明の非表示 54
トラッピングー 69
ブラックで塗りつぶされたもののオーバープリント 96
プロパティのチェック 46
オブジェクトのオーバープリント 57
オブジェクトのノッキングアウト 57
オブジェクトのプロパティのチェック 46

か

開始オープンを参照
カスタマ サポート 7
カラー
表示からのカラーの削除 52
分版の非表示 52
カラーのスケーリングトラップ カラーのスケーリングを参照
カラー分版 51
カラー分版のチェック 51

カラーラント順序 105
環境設定
    警告の表示または非表示 32
    選択とハイライトのカラーの設定 27
    デフォルト トラップ設定の入力 119
    表示および編集単位の設定 29
    ライセンス サーバー名の入力 30
簡略トラッピング ダイアログ 65

き

キーボード ショートカット
    ズーム 25
    パンニング 27
    ページのトラッピング 69
    マーキーによる選択 38
    マウスクリックによる選択 37
既存のトラップの削除オプション 108
逆トラップ。Keepaway トラップを参照
共通オブジェクト ボーダーのみオプション 109
共通濃度制限 86

く

クライアント マシンの必要条件 5
クリップされたチョーク 125
黒インクのトラッピング 94

け

警告、表示または非表示 32
結線スタイル
    円形 125
    斜角 125
    マイター 125

こ

コピードット 5

さ

最小絶対ステップ制限絶対ステップ制限を参照

し

縮小。チョークを参照
詳細なトラッピング ダイアログ 66

す

ズーム倍率を参照。
ステップ制限
    絶対 90
    相対 88
ストローク ライン。細い線を参照
ストローク。細い線を参照
すべてのトラップの削除 72
スポット カラーのダブル ヒット 104

せ

制限
    共通濃度 86
    最小絶対ステップ 90
    相対ステップ 88
    中央線トラップ 92
絶対ステップ制限、最低 90
セットアップ
    環境設定 15

クライアント マシン 5
トラッピング パラメータ 91
トラップ決定パラメータ 84
ワークスペース 15
全体表示 25
選択
プロパティ リストからの選択の削除 43
オブジェクト、トラップ、およびボーダー 34
選択されたアイテムの容易な検索 43
属性およびコンテキスト 39
マーキーによる 37
マウスクリックによる 36
選択可能なオブジェクト タイプ 35
選択とハイライトのカラー 27
選択部分のトラップの削除オプション 108

そ

相対ステップ制限、設定 88

た

ダイライン インクとトラッピング 100
単位、表示および編集 29

ち

小さいテキスト、トラッピング 96
中央線トラップ制限 92
中央線トラップ、説明 92

て

テクニカル ヘルプ 7

と

トラッピング
Keepaway トラップ 126
イメージ 98
黒インク 94
決定 85
小さいテキスト 96
パッケージ 121
複雑なビットマップ 73
細い線 106
トラッピングー
選択されたオブジェクト 69
ファイルの準備 8
ページ 68
ページの別の領域 71
ボーダー 62
トラッピング オプション 65, 91
既存のトラップの削除 108
共通オブジェクト ボーダーのみ 109
選択部分のトラップの削除 108
トラッピング オブジェクト 70
トラッピング ダイアログ 64
簡略 65
詳細 66
トラッピング パラメータ 91
イメージ 98
インクの種類 100
カラーラント順序 105
共通濃度制限 86
黒インク 94

最小絶対ステップ制限 90
相対ステップ制限 88
小さいテキスト 96
中央線トラップ制限 92
トラッピングしきい値 85
トラップ カラー スケーリング 102
トラップ サイズ 92
トラップ ジオメトリ 122
トラップ方向 88
ニュートラル濃度 101
ブラックとして取り扱う 104
細い線 106
トラッピングしきい値、設定 85
トラップ
ジオメトリ 125
Keepaway トラップ 126
数、変更 84
カラーのスケーリング 102
カラーの編集 59
サイズの変更 61
すべてのハイライト 53
すべての非表示 53
すべてを削除 72
生成 55
選択 34
選択の削除 72
中央線トラップ 92
トラップ パスの編集 128
内部トラップ 106
プロパティのチェック 47
細い線 106
トラップ カラーのスケーリング 102
トラップ カラー、スケーリング 102
トラップ サイズ
設定 92
幅と高さ 62
複雑なビットマップ 82
変更 61
トラップ ジオメトリ 122
トラップ パスの編集 128
ツール ヒント 128
パスの削除 129
パスのマージ 129
トラップ設定
Prinergy ファイルからの作成 111
Trapper 編集ファイルからの作成 112
説明 110
デフォルトの入力 119
プロセス プランの再ロード 118
変更 116
保存のロード 114
ワークフローの最適化 110
トラップの数の変更 84
トラップの削除 72
トラップの生成 55
トラップのプロパティのチェック 47
トラップ方向
概要 88
編集 58

な

内部トラップ 106

に

ニュートラル濃度 86
- イメージ 98
- トラップ カラーまたは分版 60, 82
- 変更 101

は

ハイライト
- オーバープリント オブジェクト 52
- すべてのトラップのハイライト 53
- 選択とハイライトのカラーの設定 27

倍率の変更 24
倍率、変更 24
パッケージの高度なトラッピング 121
パッケージ、トラッピング 121
幅に合わせる 25
パンニング 26

ひ

ビットマップ
- ブラックのオーバープリント 96

必要条件
- オペレーティング システム 5
- システム 6
- ソフトウェア 6

非表示
- カラー 52
- すべてのトラップ 53
- 透明オブジェクト 54

表示および編集ユニット 29
表示用の四角形 26

ふ

ファイル
- Prinergy の準備 10
- トラッピングの準備 8
- トラップ セット ファイルの長さ 9
- 命名規則 9

ファイル名
- Macintosh 用 9
- チェック 9

フォント サイズ
- カラー テキスト 97
- ブラック 97

複雑なビットマップ
- 上のオブジェクトにトラッピング 77
- オーバープリント 76
- 自動トラッピング 74
- スプレッドとチョーク 79
- トラッピング 73

複雑なビットマップのオーバープリント 76
複雑なビットマップのスプレッド 79
複雑なビットマップのチョーク 79
ブラック オブジェクトのオーバープリント 96
ブラック トラッピング ルール 95
ブラック ビットマップのオーバープリント 96
ブラックとして取り扱う 104
ブラック幅スケーリング 94

プロパティの変更 55

へ

ページ
- トラッピングー 68
- トラップの検査 44
- 別の部分の表示 26
- 別の領域のトラッピング 71

ページの表示
- 全体表示 25
- 倍率 24
- 幅に合わせる 25
- パンニング 26

ページの別の部分の表示 26
ヘルプ
- Trapper のヘルプ情報 7
- テクニカル ヘルプの取得 7

変更編集も参照
編集
- トラップ カラー 59
- トラップ ジオメトリ 125
- トラップ方向 58

ほ

ボーダー
- 選択 34
- トラッピングー 62
- プロパティのチェック 49

ボーダーのプロパティのチェック 49
細い線 106

ま

マイター コーナー、設定 125
マイター制限
- 値のテーブル 123
- 設定 125

ら

ライセンス サーバー、名前の入力 30

り

リッチなブラック 105
リモート サイトへの出力、必要条件 6
リモート サイトへの出力、ヒント 12

わ

ワークスペース、セットアップ 15
ワークフロー
- 最適化 110
- トラッピングー 2

ワークフローのトラッピング 3
- コピードット 5